

2026 令和8年度

シラバス Syllabus

無相光中常自在

妙心庵住持 宗古 宣
宣
宣

正眼短期大学
禪・人間学科

Shogen Junior College / Zen・Human Nature Course

学籍番号	氏名
------	----

はじめに

「シラバス」は講義内容を中心に編集されています。

通例、講義は週1回を原則として、15週（15回）で完結します（試験は別日）。各教員が、それぞれ担当する授業科目の一つひとつについて、本学のディプロマ・ポリシー（DP／学位授与の方針）を示し、各回の概要（テーマと内容概説）を作成し、講義の全体像（具体的な年間講義案）を、分かりやすく体系的に示したものを「シラバス」と言います。

授業に関し、ゆるがせにせず、どこまでも親切をつくる本学の教育姿勢をくみとってください。

新入生の皆さんは、この「シラバス」と別冊の「学生便覧」を、一日も早く通読し、その全体像を把握し、皆さんの人生にとって、本学で学び得た時間が豊かで実り多いものとなるよう、日々有効に活用されることを願っています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針 DP/Diploma Policy）

正眼短期大学では、「行学一体」の建学の精神に基づき、教養科目及び専門科目の授業の履修を通して「禅・人間力」（主体的自己の確立）の育成を目指し、所定の単位を修得したものに「短期大学士（禅・人間学）」を授与する。すなわち、学位授与方針「禅・人間力」を育成するための科目は、以下のとおりである。

- ① 広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。
禅について専門的知識を習得している。
- ② 宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。
- ③ 建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。
- ④ 主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決できる能力を身につけている。

令和8年度カリキュラム〔62単位〕

〔別表1〕教養科目

授業科目	授業コード	担当者	単位数	授業区分			開講基準年次	期間	授業コマ数	必選		卒業要件単位
				講義	演習	実習				必修	選択	
教養科目A	生命の尊厳	A12010	未開講	2	○			1			○	8単位以上
	倫理と人間	A12020	宇佐美之規	2	○			1	秋学期	15	○	
	人生と哲学	A12030	宇佐美之規	2	○			1	春学期	15	○	
	宗教と社会福祉	A12040	未開講	2	○			1		15	○	
	現代社会と宗教	A12050	土岐邦彦	2	○			1	秋学期	15	○	
	日本の歴史と文化	A12060	鈴木重喜	2	○			1	秋学期	15	○	
	信仰と生活	A12070	未開講	2	○			1		15	○	
	仏教心理カウンセリング	A12080	土岐邦彦	2	○			1	春学期	15	○	
教養科目B	和の養生学 a	B22011	野崎康弘	1		○		1	春学期	15	○	4単位以上 留学生 必修4単位
	和の養生学 b	B22012	野崎康弘	1		○		1	秋学期	15	○	
	漢文の基礎 a	B22021	桐野祥陽	1		○		1	春学期	15	○	
	漢文の基礎 b	B22022	桐野祥陽	1		○		1	秋学期	15	○	
	日本語 I a	B21031	宇佐美之規	1		○		1	春学期	15	○	
	日本語 I b	B21032	宇佐美之規	1		○		1	秋学期	15	○	
	日本語 II a	B21041	宇佐美之規	1		○		2	春学期	15	○	
	日本語 II b	B21042	宇佐美之規	1		○		2	秋学期	15	○	

〔別表2〕 専門科目

授業科目	授業コード	担当者	単位数	授業区分			開講基準年次	期間	コマ数	必選		卒業要件単位
				講義	演習	実習				必修	選択	
専 門 科 目 C	仏教学の基礎	C11010	水野和彦	2	○			1	春学期	15	○	20単位 (必修 20単位)
	禅宗史概論	C11020	池田丈明	2	○			1	秋学期	15	○	
	禅学の基礎	C11030	山川宗玄	2	○			1	春学期	15	○	
	仏教史概論	C11040	池田丈明	2	○			1	春学期	15	○	
	禅と人間	C11050	山川宗玄	2	○			2	秋学期	15	○	
	提唱・禅語録Ⅰa	C11061	山川宗玄	2	○			1	春学期	15	○	
	提唱・禅語録Ⅰb	C11062	山川宗玄	2	○			1	秋学期	15	○	
	提唱・禅語録Ⅱa	C11071	山川宗玄	2	○			2	春学期	15	○	
	提唱・禅語録Ⅱb	C11072	山川宗玄	2	○			2	秋学期	15	○	
	卒業実践研究a	C21081	各担当教官	abで 2		○		1・2	春学期	15	○	
	卒業実践研究b	C21082	各担当教官			○		1・2	秋学期	15	○	
	布教学a	C12091	松久宗心	2	○			1・2	春学期	15	○	
	布教学b	C12092	松久宗心	2	○			1・2	秋学期	15	○	
	僧侶必携a	C12101	鈴木重喜	2	○			1・2	春学期	15	○	
僧侶必携b	C12102	水野和彦	2	○			1・2	秋学期	15	○		
専 門 科 目 D	坐禅Ⅰa	D31011	青井有信	1			○	1	春学期	22.5	○	8単位
	坐禅Ⅰb	D31012	青井有信	1			○	1	秋学期	22.5	○	
	坐禅Ⅱa	D31021	青井有信	1			○	2	春学期	22.5	○	
	坐禅Ⅱb	D31022	青井有信	1			○	2	秋学期	22.5	○	
	作務Ⅰa	D31031	山本宗孝	1			○	1	春学期	22.5	○	
	作務Ⅰb	D31032	山本宗孝	1			○	1	秋学期	22.5	○	
	作務Ⅱa	D31041	山本宗孝	1			○	2	春学期	22.5	○	
	作務Ⅱb	D31042	山本宗孝	1			○	2	秋学期	22.5	○	
	禅の作法と心得a	D22051	山本宗孝	1		○		1	春学期	15	○	
	禅の作法と心得b	D22052	山本宗孝	1		○		1	秋学期	15	○	

	授業科目	授業コード	担当者	単位数	授業区分			開講基準年次	期間	コマ数	必選		卒業要件 単位
					講義	演習	実習				必修	選択	
専 門 科 目 E	仏教学 a	E12011	水野和彦	2	○			1・2	春学期	15		○	18単位 以上
	仏教学 b	E12012	水野和彦	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	禅学 a	E12021	池田文明	2	○			1・2	春学期	15		○	
	禅学 b	E12022	池田文明	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	仏教史 a	E12031	池田文明	2	○			1・2	春学期	15		○	
	仏教史 b	E12032	池田文明	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	禅宗史 a	E12041	未開講	2	○			1・2		15		○	
	禅宗史 b	E12042	未開講	2	○			1・2		15		○	
	日本文化 a	E12051	鈴木重喜	2	○			1・2	春学期	15		○	
	日本文化 b	E12052	鈴木重喜	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	仏教文化 a	E12061	未開講	2	○			1・2		15		○	
	仏教文化 b	E12062	未開講	2	○			1・2		15		○	
	宗教思想 a	E12071	宇佐美之規	2	○			1・2	春学期	15		○	
	宗教思想 b	E12072	宇佐美之規	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	仏教福祉 a	E12081	松久宗心	2	○			1・2	春学期	15		○	
	仏教福祉 b	E12082	松久宗心	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	禅宗経典 a	E12091	水野和彦	2	○			1・2	春学期	15		○	
	禅宗経典 b	E12092	水野和彦	2	○			1・2	秋学期	15		○	
	禅宗法儀 a	E12101	山本宗孝	2	○			1・2	春学期	15		○	
	禅宗法儀 b	E12102	山本宗孝	2	○			1・2	秋学期	15		○	
日本事情 a	E11111	鈴木重喜	2	○			1	春学期	15		○	} 留学生 選択必修	
日本事情 b	E11112	鈴木重喜	2	○			1	秋学期	15		○		
専 門 科 目 F	太極拳	F32010	未開講	1			○	1		15		○	4単位以上
	ヨガ	F32020	未開講	1			○	1		15		○	
	茶道 a	F32031	辻 栄治	1			○	1	春学期	15		○	
	茶道 b	F32032	未開講	1			○	1		15		○	
	華道 a	F32041	未開講	1			○	1		15		○	
	華道 b	F32042	辻 栄治	1			○	1	秋学期	15		○	
	筆禅道 a	F32051	加藤舞心	1			○	1	春学期	15		○	
	筆禅道 b	F32052	加藤舞心	1			○	1	秋学期	15		○	
	陶芸 a	F32061	松原一哲	1			○	1	春学期	15		○	
	陶芸 b	F32062	松原一哲	1			○	1	秋学期	15		○	
	彫仏 a	F32071	未開講	1			○	1		15		○	
	彫仏 b	F32072	未開講	1			○	1		15		○	
	精進料理法 a	F32081	未開講	1			○	1		15		○	
	精進料理法 b	F32082	未開講	1			○	1		15		○	

令和7年度カリキュラムマップ

太字は必修、※印は本年度未開講

		1年春学期	1年秋学期	2年春学期	2年秋学期
		禅を知る	禅を理解する	禅を習得する	行学一体を知る
		勉学への姿勢を模索する	勉学のスタイルを確立する	勉学の精進	勉学の完成へ
教養系	・教養を高める ・宗教や福祉を学ぶ	※A 生命の尊厳 A 人生と哲学 ※A 宗教と社会福祉 A 仏教心理 カウンセリング B 和の養生学 a	A 倫理と人間 A 現代社会と宗教 A 日本の歴史と文化 ※A 信仰と生活 B 和の養生学 b		
	・語学を知る	B 漢文の基礎 a B 日本語 I a (留学生)	B 漢文の基礎 b B 日本語 I b (留学生)	B 日本語 II a (留学生)	B 日本語 II b (留学生)
座学系	・仏教や禅の思想を学ぶ	C 仏教学の基礎 C 禅学の基礎		E 仏教学 a E 禅学 a E 宗教思想 a E 仏教福祉 a	C 禅と人間 E 仏教学 b E 禅学 b E 宗教思想 b E 仏教福祉 b
	・仏教や禅の歴史を学ぶ	C 仏教史概論 C 禅宗史概論		E 仏教史 a ※E 禅宗史 a	E 仏教史 b ※E 禅宗史 b
	・日本や禅の文化を学ぶ	E 日本事情 a (留学生)	E 日本事情 b (留学生)	E 日本文化 a ※E 仏教文化 a	E 日本文化 b ※E 仏教文化 b
実践系	・僧侶の実践を体験する	C 提唱・禅語録 I a	C 提唱・禅語録 I b	C 提唱・禅語録 II a E 禅宗経典 a E 禅宗法儀 a C 布教学 a C 僧侶必携 a	C 提唱・禅語録 II b E 禅宗経典 b E 禅宗法儀 b C 布教学 b C 僧侶必携 b
	・禅文化を体験する	※F 太極拳 F 茶道 a ※F 華道 a F 筆禅道 a F 陶芸 a ※F 彫仏 a ※F 精進料理法 a	※F ヨガ ※F 茶道 b F 華道 b F 筆禅道 b F 陶芸 b ※F 彫仏 b ※F 精進料理法 b		
	・禅的生活を実践する	D 禅の作法と心得 a D 坐禅 I a D 作務 I a	D 禅の作法と心得 b D 坐禅 I b D 作務 I b	C 卒業実践研究 a D 坐禅 II a D 作務 II a	C 卒業実践研究 b D 坐禅 II b D 作務 II b

シラバス 目次

A

倫理と人間	19
人生と哲学	21
現代社会と宗教	23
日本の歴史と文化	25
仏教心理カウンセリング	27

B

和の養生学 a	29
和の養生学 b	31
漢文の基礎 a	33
漢文の基礎 b	35
日本語 I a	37
日本語 I b	39
日本語 II a	41
日本語 II b	43

C

仏教学の基礎	45
禅宗史概論	47
禅学の基礎	49
仏教史概論	51
禅と人間	53
提唱・禅語録 I a / II a	55
提唱・禅語録 I b / II b	57
卒業実践研究 a	59
卒業実践研究 b	61
布教学 a	63
布教学 b	65
僧侶必携 a	67
僧侶必携 b	69

D

坐禅 I a / II a	71
坐禅 I b / III b	73
作務 I a / II a	75
作務 II a / II b	77
禅の作法と心得 a	79
禅の作法と心得 b	81

E

仏教学 a	83
仏教学 b	85
禅学 a	87
禅学 b	89
仏教史 a	91
仏教史 b	93
日本文化 a	95
日本文化 b	97
宗教思想 a	99
宗教思想 b	101
仏教福祉 a	103
仏教福祉 b	105
禅宗経典 a	107
禅宗経典 b	109
禅宗法儀 a	111
禅宗法儀 b	113
日本事情 a	115
日本事情 b	117

F

茶道 a	119
華道 b	121
筆禅道 a	123
筆禅道 b	125
陶芸 a	127
陶芸 b	129

シラバス (PDF)
掲載ページ ▶



科目名	倫理と人間			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	倫理観、道徳心			授業コード	A12020	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	－	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・ 倫理という言葉についてその意味を説明することが出来る。
- ・ 倫理に関する社会的関心とその問題点について考察することができる。
- ・ 現代における倫理観の欠如の構造について考察し解決策を模索することができる。

〈授業概要〉

日常的な事柄など身近な問題を題材として、日本人の道徳観を踏まえつつ、倫理について学習し、さまざまな諸問題（政治「政策」、経済、税金、社会情勢、思想など）の矛盾に向き合い、その解消について考える思考力を養う力を身につけます。それは「人として正しいのか」という点、また、溢れる情報の中でオールドメディアと言われるくらい変更報道が多々あり、何が fake で何が真実かを見抜くことを心掛けるようにして下さい。

〈質疑応答〉

質問は講義中に行います。

オフィスアワー（研究室）水曜日午後 15 時～16 時（※会議のある日を除く）

木曜日午前 10 時～11 時

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 20%・課題 20%

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

尚、シラバスの授業計画・内容は前後します。内容によっては、いろいろな比喻などを用いて説明することがあります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：必要に応じて紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス、倫理とは (講義)	【予習】倫理について考えてくること(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
②	倫理の語彙について (講義)	【予習】エチケットについて考えてくる(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
③	古代ギリシャ1 (講義)	【予習】アリストテレスについて調べてくる(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
④	古代ギリシャ2 (講義)	【予習】ギリシャの都市国家について調べてくる(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑤	古代ギリシャ3 (講義)	【予習】ニコマコス倫理学について調べてくる(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑥	近代西洋における倫理1 (講義)	【予習】カントについて調べてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑦	イギリス経験論と大陸合理論 (講義)	【予習】人間の思考、思想について(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑧	パーソン論について (講義)	【予習】人間とは何か、人間知について考えてくる。 (30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑨	人間哲学としての問題領域 (講義)	【予習】倫理観について考えてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑩	日本の文化と型について (講義)	【予習】礼儀や作法について考えてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑪	現代社会の諸問題1 (講義)	【予習】正義や嘘について考えてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑫	現代社会の諸問題2 (講義)	【予習】どのような問題があるか考える。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑬	現代社会の危機1 (講義)	【予習】時代の転換期について考えてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑭	現代社会の危機2 (講義)	【予習】文化の危機について考えてくる。(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ (講義)	【予習】及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(60)
⑯	定期試験	

科目名	人生と哲学			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	人生哲学			授業コード	A12030	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	－	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・哲学についての理解を深め説明することが出来る。
- ・人生哲学について自分なりに考え哲学的理解を深め発言することが出来る。
- ・現代社会における諸問題について哲学的に考察し応用することが出来る。

〈授業概要〉

哲学とは、自然及び社会、思考、知識の獲得に関する一般的法則を研究する科学であり、全体としての世界についての見解を示す世界観でもあり、根本的な原理について万物に共通する法則などを論理的に探究します。ギリシャ哲学から「存在とは」また、人生哲学とはどのように考えるのか、更に、善や悪とは、賛成と反対とは、正義について西洋、東洋哲学（仏教）ではどのように考えるのかなど、深く考える力を学びます。情報についてオールドメディアや fake ニュースと言われるように偏向報道が多々あること、何が真実で嘘かを見抜く力を付け政治哲学、プラトンの政治論を起点として、日本の政治や政策、政治家とは、政治とは、という点についても考えます。

〈質疑応答〉 質問は講義中に行います。

オフィスアワー（研究室）水曜日午後 15 時～16 時（※会議のある日を除く）
木曜日午前 10 時～11 時

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60％・授業への取組み及び受講態度 20％・課題 20％

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

尚、シラバスの授業計画・内容は前後します。内容によっては、いろいろな比喻などを用いて説明することがあります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：必要に応じて紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 哲学のはじまり (講義)	【予習】自分自身について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
②	哲学の問い (講義)	【予習】存在について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
③	ギリシャ哲学 (講義)	【予習】根源について考えてみる (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
④	ソクラテス1 (講義)	【予習】ソクラテスについて調べる (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑤	ソクラテス2 (講義)	【予習】「知」について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑥	ソクラテス3 (講義)	【予習】「生と死」について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑦	プラトン1 (講義)	【予習】イデア論について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑧	プラトン2 (講義)	【予習】(哲人)政治について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑨	プラトン3 (講義)	【予習】理想の国家について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑩	ヘーゲル1 (講義)	【予習】実存について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑪	ヘーゲル2 (講義)	【予習】意識と対象について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑫	ヘーゲル3 (講義)	【予習】弁証法について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑬	ヤスパース1 (講義)	【予習】必然と生きることについて考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑭	ヤスパース2 (講義)	【予習】限界状況について考える (30) 【復習】授業内容をまとめる (30)
⑮	まとめ (講義)	【予習】及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(60)
⑯	定期試験	

科目名	現代社会と宗教			担当教員名	土岐 邦彦	
サブタイトル	“利他”という視点から現代社会の諸問題を読み解く			授業コード	A12050	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、南泉寺住職・岐阜大学名誉教授		

〈DP(学位授与方針)・この授業で育まれる能力〉

- ①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。
- ②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな教養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・現代社会に生ずる諸問題を“利他”という視点から分析することの必要を理解できる。
- ・“利他”にかかわる西洋思想および東洋思想との比較をとおして、仏教における“利他”の精神について説明することができる。
- ・仏教をルーツとする“利他”にかかわる思想が、現代の諸科学の成果とどのように関連しているかを理解することができる。

〈授業概要〉

わが国は大きな地震をはじめとする自然災害にたびたび苦しめられてきた。また得体の知れないウイルスに覆われた地球を全世界の人々は経験した。そんなとき他者を気遣い支えていく“利他”の精神と行動のかけがえのなさを多くの人たちは身をもって実感したのであろう。その一方で、“利他”とは真逆の“分断”がすすみ、人々の間に格差が増大するだけでなく、他者を差別・排斥する行動や思考、ひいては戦争という悲惨な事態を現代社会は止めることができないでいる。本授業では、“利他”の精神のルーツが仏教に在ることを紹介し、西洋および東洋における類似の思想との異同、諸科学に対する“利他”の思想の影響などに言及することをおして、なぜいま“利他”に注目すべきかを論じる。また「受講者の利他体験」についての報告・討論も行う。

〈質疑応答〉

質問等は授業の終了後に時間をとりますので積極的に聞いてください。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、レポート作成とその報告(60%程度)、授業への取り組み(討論への参加状況40%程度)により行います。授業を4回以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席と見なす)すると筆記試験の受験資格がなくなります。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：授業者自作の資料を配布します。
参考文献：教場で紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス:この授業で伝えたいこと (講義・資料講読)	【予習】 シラバスの確認 (20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
②	なぜいま、“利他”なのか (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
③	日本仏教における日本的「利他」の起源(1) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
④	日本仏教における日本的「利他」の起源(2) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑤	「自利利他」と「忘己利他」—「自己」とはなにか(1) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑥	「自利利他」と「忘己利他」—「自己」とはなにか(2) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑦	「自利利他」と「忘己利他」—「自己」とはなにか(3) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑧	「自利利他」と「忘己利他」—「他者」とはなにか(1) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑨	「自利利他」と「忘己利他」—「他者」とはなにか(2) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑩	「自利利他」と「忘己利他」—「他者」とはなにか(3) (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑪	「自利利他」と「忘己利他」—「利」とはなにか (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑫	近隣諸科学における“利他” (講義・資料講読)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑬	私にとっての利他(1) (報告と討論)	【予習】 報告レポートの作成 (60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	私にとっての利他(2) (報告と討論)	【予習】 報告レポートの作成 (60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	あらためてなぜいま、“利他”なのか (講義・資料講読)	【予習および復習】 これまでの学習内容を確認 (120)

科目名	日本の歴史と文化			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	過去から学び未来につなげる			授業コード	A12060	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな教養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・日本の歴史や文化に関する用語の読み方と意味を習得し、各時代で生み出された文化の意義と特徴を説明できる。
- ・古代国家の形成から近代までのそれぞれの時代の流れと特徴を討論できる。
- ・史料講読力等の意欲が高められる。

〈授業概要〉

本講義では、日本の歴史の中で特に文化史を中心に概説し、関連史料を全員で読みながら史料にあらわされた事柄について確認し考えます。この講義を通して日本人の過去の文化や先人の考え方について学び、現代人として日本文化に一層の理解と関心を深めるとともに、次世代へ伝えようとする精神を身に付けます。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス: オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス: 授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行います。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、定期試験(筆記試験 70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、課題レポート(20%程度)により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト: 尾藤正英『日本文化の歴史』(岩波書店 税込み 864円)

参考文献: 授業で紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめにー日本文化の源流ー (講義) * 歴史とは何か、文化とは何かについて確認します。	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	古代国家の形成と日本神話(講義・史料講読) * 古代国家の形成過程を大陸文化との関わりで説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	仏教の受容とその発展 (講義・史料講読) * 仏教の伝来とその後の律令国家の形成との関わりで奈良仏教について説明します。 * 聖徳太子、行基、鑑真による事業や道鏡による弊害。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	漢風文化から国風文化へ (講義・史料講読) * 平安遷都から遣唐使廃止に至る政治過程、漢風文化と国風文化について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	平安時代の仏教 (講義・史料講読) * 最澄と空海、徳一の思想、平安仏教の特色、神仏習合、本地垂迹について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	鎌倉仏教の成立 (講義・史料講読) * 鎌倉仏教の特色と源信・法然・親鸞・一遍・栄西・道元・日蓮について説明します。 ※課題レポート提出	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	内乱期の文化 (講義・史料講読) * 武家政権の交代と内乱の過程、神信仰の道德化(本地垂迹・反本地垂迹)について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	国民的宗教の成立 (講義・史料講読) * 寺請制度、本山末寺制度、両墓制、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の神格化について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	近世国家の成立と歴史思想(講義・史料講読) * 政権による支配のしくみ、歴史書の編纂や歴史観について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	元禄文化 (講義・史料講読) * 元禄時代の社会と文化について説明します。 ※課題レポート提出	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	儒学の日本的展開 (講義・史料講読) * 朱子学と古学について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	国学と洋学 (講義・史料講読) * 国学と洋学について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	明治維新における公論尊重の理念 (講義) * 尊皇攘夷思想、公議政体論について説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代日本における西洋化と伝統文化 (講義) * 日本の近代化と伝統文化との関わりについて説明します。	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	授業のまとめ (講義)	【予習および復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	仏教心理カウンセリング			担当教員名	土岐 邦彦	
サブタイトル	仏教者・仏教徒としてのカウンセリング マインド体得への第一歩			授業コード	A12080	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春学期	月・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、南泉寺住職・岐阜大学名誉教授		

〈DP(学位授与方針)・この授業で育まれる能力〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな教養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。

〈到達目標〉

- ・「自我」「自己」に関する心理学的理論を習得し、現代社会で生じる問題について「自我」の発達の様相とかかわらせて論じることができる。
- ・仏教(禅)がとらえる「自我」と心理学がとらえる「自我」の異同について論じることができる。
- ・現代社会において生じる諸問題を宗教との関連で理解し、そこで苦しむ人々に仏教徒(仏教者)として支援するために、あるべきカウンセリングマインドの基礎を育むことができる。

〈授業概要〉

最初に、心理学の近接学問領域では人間理解がどのように論じられているかを教授する。次いで、「自我」の発達に関する臨床発達心理学理論を学び、人間を総体(知性・感情・身体のアンスンブル)としてとらえる視点を提示するとともに、仏教(禅)で捉えられる「自我」との相違について教授する。さらに、現代社会で生じる諸問題を宗教とのかかわり(仏教以外にもキリスト教等にも触れながら)において捉え、人々の意識形成に宗教がどうかかわるかを教授する。こうした学習をふまえ、他者に対する時の心構え(カウンセリングマインド)を育む視点を提示する。

〈質疑応答〉

質問等は授業の終了後に時間をとりますので積極的に聞いてください。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、定期試験(筆記試験60%程度)、授業への取り組み(討論への参加状況40%程度)により行います。授業を4回以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席と見なす)すると筆記試験の受験資格がなくなります。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：講義に関するテキストは授業者が印刷・作成したものを最初の授業時に配布します。

追加資料がある場合はその都度、授業時に配布します。

参考文献：教場で紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (本講義のガイダンス)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	心理学の周辺領域①歴史学的人間理解—近代を区切りにした人間観の変遷 (講義)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	心理学の周辺領域②大脳生理学的人間理解—言葉を生み出す脳 (講義)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	人間の発達をどうとらえるか—心理学史の概観 (講義)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	自我の発達①自我の芽生え (資料の講読と討論)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	自我の発達②自我の拡充 (資料の講読と討論)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	自我の発達③自我の成立 (資料の講読と討論)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	自我の発達④自我の動揺 (資料の講読と討論)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	自我の発達⑤自我の安定 (資料の講読と討論)	【予習】テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	仏教における自我・心理学における自我 (その1) (講義)	【予習】資料を読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	仏教における自我・心理学における自我 (その2) (講義)	【予習】資料を読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	宗教と人間の心 (講義)	【予習】資料を読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	社会問題と宗教(その1) 人はなぜ他者を排斥するのか—差別への視点 (講義)	【予習】資料を読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	社会問題と宗教(その2) 仏教の人間観から他者を排斥する心を考える (講義と討論)	【予習】資料を読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	カウンセリングマインドを育むために (資料の講読と討論)	【予習および復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	和の養生学 a			担当教員名	野崎 康弘	
サブタイトル	日本の伝統食(食材・薬味・調味料)の素晴らしさを東洋医学の陰陽五行論を基に再認識し、健康管理に役立て、実行出来るようにする。			授業コード	B22011	
開講基準年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春学期	火・3	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		漢方の野崎薬局経営、薬剤師、針灸師 薬草苑運営、唐招提寺復興薬草園主宰		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について深い専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・東洋医学の陰陽五行論を学び、考察してその意味を説明することができる。
- ・日本の食材の歴史と素晴らしさを学び、陰陽五行論中の気味(四気と五味)、効能を理解し説明することができる。
- ・日本のおかずの食材、薬味、調味料の配合を学び、その素晴らしさを考察し、陰陽五行論の気味(四気と五味)、効能を理解し説明することができる。
- ・伝統的なツボについて実践し学び、説明し、利用できるようにする。
- ・日本の伝統的な行事を学び、その意義を探究し理解し、その意味を説明できる。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を考察し説明できる。
- ・蓮の栽培方、甘茶の製法、お粥作り、薬味作りの実習することにより、実践できるようにする。

〈授業概要〉

東洋医学の基本である陰陽五行論を学び、日常の食材や薬味、調味料について陰陽五行論で解説し、その素晴らしさを説明し、発見していただく。また、受講者のお袋の味を同様な方法で説明し、その良さを理解していただきます。古くから行われている日本の「時節の行事」を解説します。日常使うことの出来るツボを説明し、実践してもらいます。蓮の栽培方、甘茶の製法、お粥作り、薬味作りの実習し、実践できるようにします。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中および授業後に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

各自の理解度によって、資料を提出して説明する。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(筆記試験 50%程度)と授業への取り組み(20%程度)、レポート(30%程度)により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：野崎康弘著『和の養生学Ⅱ』食養生学編およびプリント配布

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	蓮の植え付け（実習、正眼寺境内にて） ※汚れても良い服装、ゴム手袋持参	【予習】 実践内容を把握する(30) 【復習】 実践内容の確認とまとめ(30)
②	自然界に生かされている 陰陽論について（講義、討論、スライド） 陰陽とは、気血とは	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	自然界に生かされている 五行論、五行と自然界 食養生とは（講義、討論、スライド） ・レポート提出	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	自然界に生かされている 五行論、五行と身体 時節の行事（講義、討論、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	身体を構成する経絡とは 経絡とツボについて、取穴方法と効能、 実践（講義、実習） 家庭のおかずの解説	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	日本の調味料(しょうゆ、味噌など)の意義 (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	日本の調味料(塩、酢、ミリン、ポン酢など) の意義 (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	日本人の源(ご飯、粥)の超素晴らしさ発 見 (講義、実習) ※お粥作りの実習	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	素晴らしい日本の薬食同源(うめ、らっきょう など) (講義) 家庭のおかずの解説	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	薬味の講義、ゆかり、花椒塩作り（実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	薬草を身近に(ドクダミ、オオバコなど) (講義) 家庭のおかずの解説	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	日本の時節の行事 (講義) 家庭のおかずの解説	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	日本の固有種・甘茶作りの実習 ※山を散策できる服装、手袋持参	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	日本の世界で一番食べている食材(ダイコン など) (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの 学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

科目名	和の養生学 b			担当教員名	野崎 康弘	
サブタイトル	日本の伝統食(食材・薬味・調味料)の素晴らしさを東洋医学の陰陽五行論を基に再認識し、健康管理に役立て、実行出来るようにする。			授業コード	B22012	
開講基準年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋学期	火・3	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	漢方の野崎薬局経営、薬剤師、針灸師 薬草苑運営、唐招提寺復興薬草園主宰			

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について深い専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている

〈到達目標〉

- ・東洋医学の陰陽論、五行論を学び、考察してその意味を説明することができる。
- ・日本の食材の歴史と素晴らしさを学び、陰陽五行論中の気味(四気と五味)、効能を理解し説明することができる。
- ・日本のおかずの食材、薬味、調味料の配合を学び、その素晴らしさを考察し、陰陽五行論の気味(四気と五味)、効能を理解し説明することができる。
- ・伝統的なツボについて実践し学び、説明し、利用できるようにする。
- ・日本の伝統的な行事を学び、その意義を探究し理解し、その意味を説明できる。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を考察し説明できる。
- ・薬膳作り、薬草染め、味噌作り、コンニャク作りを実習し、実践できるようにする。

〈授業概要〉

東洋医学の基本である陰陽五行論を学び、日常の食材や薬味、調味料について陰陽五行論で解説し、その素晴らしさを説明し、発見していただく。また、受講者のお袋の味を同様な方法で説明し、その良さを理解していただきます。古くから行われている日本の「時節の行事」を解説します。日常使うことの出来るツボを説明し、実践してもらいます。薬膳、コンニャク、味噌作り方、薬草染めなどを実習し、実践出来るようにします。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中および授業後に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

各自の理解度によって、資料を提出して説明する。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(筆記試験 50%程度)と授業への取り組み(20%程度)、レポート(30%程度)により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：野崎康弘著『和の養生学』、プリント配布

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	食養生の基本の考え方 薬膳料理の実習（蓮の葉のおこわ）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	自然界に生かされて 日本の薬味の素晴らしさ(サンショウ、ショウガ)を学ぶ	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	自然界に生かされて 陰陽五行論(講義) 日本の薬味は素晴らしい(ネギ、ワサビ) (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	自分の健康は自分で学ぶ ツボの取穴方法と効能 (講義、実習)(プリント配布) 日本の秋の食材 (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	身近な薬草の効能、使い方(ヨモギ、キク) ・レポート提出	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	果物の効能など (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	健康を守る薬草染め、染め物の実習 (キハダ、ホソバタイセイなど)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	薬食同源(サトイモ、ハクサイ)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	なぜ薬味を必要なのか1 (シソ、カラシ、唐辛子)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	なぜ薬味が必要なのか2 (ミョウガ、ニラ、ユズ、茶) 薬食同源(ゴボウ、レンコン)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	コンニャク作りの実習 (実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	年末年始の日本の時節の行事 (講義、スライド) 正月飾りの意義など(テキストp245～)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	味噌作りを実習 (実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	大切なマメ類について (講義、実習) 大豆、黒豆、小豆、緑豆など	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

科目名	漢文の基礎a			担当教員名	桐野 祥陽	
サブタイトル	故事成語を通じて漢文読解の基礎を学び固めていく			授業コード	B22021	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木3,4,5 金3,4,5 月1回程度	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・大泉寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について深い専門的知識を有している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学の一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的な自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・漢字の価値や重要性を知ることができる。
- ・簡単な文章を読む中で、漢和辞典の引き方や、漢文特有の句法や用法を知ることができる。
- ・最終的に漢文の書き下しと意味がとれるようになり、漢文読解の力を修得することができる。

〈授業概要〉

漢文を学ぶ上で重要とされるのが「訓読」の力である。本講義では、故事成語や禅語録等を取り上げ、基礎的な処から漢文読解に必要な句法に注意しつつじっくりと進めていく。

〈質疑応答〉

講義中にその都度確認する。

ただ、この講義は毎週開催されるわけではないので、もし理解を深めるに当たり早く質疑をした場合は、メールなどの方法を取る。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

書面及び口頭にてアドバイスをする

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

講義毎に課題を出し、それに対する取り組み姿勢や受講態度(講義中に行う書き取り)等を重視する(50%)。筆記試験(50%)。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：随時プリントで配布する。

辞書：戸川芳郎監修『漢辞海』三省堂

※他の辞書でも構わないが出来ればこれを推奨したい。

参考文献：西田太一郎『漢文法要説』朋友出版社

西田太一郎・小川環樹『漢文法入門』岩波全書

吉川幸次郎『漢文の話』ちくま学芸文庫

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】シラバス確認(10) 【復習】今後の講義内容の確認など(30)
②	「漢文」とは何か (漢字の歴史・漢文学習の意義)①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
③	「漢文」とは何か (漢字の歴史・漢文学習の意義)②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
④	故事成語 『唐詩紀事』①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑤	故事成語 『唐詩紀事』②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑥	故事成語 『戦国策』①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑦	故事成語 『戦国策』②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑧	故事成語 『孟子』①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑨	故事成語 『孟子』②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑩	故事成語 『韓非子』①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑪	故事成語 『韓非子』②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑫	故事成語 『論語』①	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑬	故事成語 『論語』②	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑭	故事成語 『論語』③	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑮	故事成語 「前期の重要箇所確認」	【予習】講義に出す課題下調べ(60) 【復習】講義内容の確認・まとめ(30)
⑯	筆記試験	

科目名	漢文の基礎b			担当教員名	桐野 祥陽	
サブタイトル	禅語録を通じて漢文読解の基礎を固め、禅思想を学び深めていく。			授業コード	B22022	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木曜3,4,5 金曜3,4,5 月1回程度	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・大泉寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について深い専門的知識を有している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学の一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的な自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・漢字の価値や重要さを知ることができる。
- ・禅語録を読む中で、禅思想を深く学ぶことができる。また、語録特有の句法や用法を知ることができる。
- ・最終的に語録の書き下しと意味がとれるようになり、語録読解の力を修得することができる。

〈授業概要〉

漢文を学ぶ上で重要とされるのが「訓読」の力である。

本講義では、故事成語や禅語録等を取り上げ、基礎的な処から漢文読解に必要な句法に注意しつつじっくりと進めていく。

〈質疑応答〉

講義中にその都度確認する。

ただ、この講義は毎週開催されるわけではないので、もし理解を深めるに当たり早く質疑をした場合は、メールなどの方法を取る。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

書面及び口頭にてアドバイスをする

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

講義毎に課題を出し、それに対する取り組む姿勢や受講態度(講義中に行う書き取り)等を重視する(50%)。筆記試験(50%)。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『無門関』『碧巖録』『臨濟録』などは随時プリント配布。

※その他の語録・禅語に対するテキストについては講義中に紹介する。

辞書：戸川芳郎監修『漢辞海』三省堂(必須)

※他の辞書でも構わないが出来ればこれを推奨したい。

参考文献：西村恵信 『無門関』 岩波書店

西田太一郎『漢文法要説』朋友出版社

西田太一郎・小川環樹『漢文法入門』岩波全書

吉川幸次郎『漢文の話』ちくま学芸文庫

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 禅語録についての解説① 『無門関』『碧巖録』『臨濟録』	【予習】 シラバス確認(10) 【復習】 今後の講義内容の確認など(30)
②	禅語録についての解説② 『無門関』『碧巖録』『臨濟録』	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
③	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 本則	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
④	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 評唱①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑤	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 評唱②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑥	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 評唱③	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑦	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 評唱④	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑧	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 評唱⑤	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑨	禅語録 『無門関』第一則 趙州狗子 頌	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑩	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 本則①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑪	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 本則②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑫	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 評唱①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑬	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 評唱②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑭	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 頌①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑮	禅語録 『碧巖録』第一則 武帝問達磨 頌②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60) 【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑯	筆記試験	

科目名	日本語 I a			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	日本語の基礎学習			授業コード	B21031	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

〈到達目標〉

- ・日本語の基礎力を習得することが出来る。
- ・日本語の語彙や文法を体系的に習得出来る。
- ・簡単な日本語での表現が出来る。

〈授業概要〉

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級1』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

〈質疑応答〉

授業時間内に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

オフィスアワー(研究室)水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時

(※会議のある日を除く)

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 30%・レポート 10%。

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので、注意すること。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『みんなの日本語初級1』スリーエーネットワーク

参考文献：必要に応じてコピーして配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	五十音	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ひらがな・カタカナ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	あいさつ・自己紹介	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	これ・それ・あれ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ここ・そこ・あそこ・あちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	時間・曜日・数字	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	～へ行く	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	～ます・～ましょう	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	～な・～い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	好き嫌い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	ある・いる	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	数え方	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	～より・～とどちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	～したい・～がほしい	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑯	定期試験	

科目名	日本語 I b			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	日本語での表現			授業コード	B21032	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

〈到達目標〉

- ・文法や語彙の拡充により、基礎力が向上出来る。
- ・物事をより詳しく説明する表現力を習得することが出来る。
- ・文の構造や意味・機能を総合的に理解することが出来る。

〈授業概要〉

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級1』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

〈質疑応答〉

授業時間内に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

オフィスアワー(研究室)水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時

(※会議のある日を除く)

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 30%・レポート 10%。

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので、注意すること。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『みんなの日本語初級1』スリーエーネットワーク

参考文献：必要に応じてコピーして配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	ください・ましょうか	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	いいですか・いけません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	～でから・～で	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	～ないでください・なければなりません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ができます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	ことがあります	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	普通体	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	と思います・といいます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	修飾関係	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	～とき	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	あげます・もらいます・くれます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	仮定条件・確定条件	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	会話1	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	会話2	【予習】 及び【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認 授業内容の確認とまとめ(60)
⑯	定期試験	

科目名	日本語Ⅱa			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	会話学習			授業コード	B21041	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	春	木・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無				実務経験(職業等)		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

〈到達目標〉

- ・日本語での会話が中級程度話すことができる。
- ・応用的な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を理解することができるようになる。

〈授業概要〉

中級レベルの日本語を学びます。応用的な表現を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

〈質疑応答〉

質問は講義中にして下さい。

オフィスアワー(研究室)水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時

(※会議のある日を除く)

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 20%。

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『新日本語の基礎Ⅱ』（スリーエーネットワーク、2,524 円税抜き）

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 話し言葉用法 (講義)	【予習】～んです。～んですがという表現について勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
②	第2課 可能動詞 (講義)	【予習】まだ～ません。～は～の表現を勉強しておくこと(60) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
③	第3課 習慣的動作 (講義)	【予習】～ながら、～ています。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
④	第4課 結果の状態 (講義)	【予習】～が～ています。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑤	第5課 他動詞と助詞の用法 (講義・課題)	【予習】～(よ)う。～予定です。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑥	第6課 助言や指示 (講義)	【予習】～た/ないほうがいいです。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑦	第7課 命令形・禁止形 (講義)	【予習】～てくれ。と言っていました。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑧	第8課 名詞+のとおり (講義)	【予習】～とおりに。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑨	第9課 自動詞と可能動詞 (講義)	【予習】～ようになりました。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑩	第10課 受身の表現 (講義)	【予習】～は～に(ら)られます。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑪	第11課 動詞文の名詞句化 (講義)	【予習】～のは～です。～のが～です。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑫	第12課 形容詞の否定形 (講義)	【予習】～て、～くて、～で、～ので。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑬	第13課 疑問詞 (講義)	【予習】～かどうか、～。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑭	第14課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字 (講義)	【予習】ア～ン行のひらがなとカタカナ及び簡単な漢字を書けるように練習しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ	【予習】及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(60)
⑯	定期試験	

科目名	日本語Ⅱb			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	会話の類似場面			授業コード	B21042	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	秋	木・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無		実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

〈到達目標〉

- ・日本語での会話が中級以上程度話すことができる。
- ・より丁寧な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を理解することができるようになる。

〈授業概要〉

中級レベル以上の日本語を学びます。応用的な表現(丁寧な表現等々)を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

〈質疑応答〉

質問は講義中にして下さい。

オフィスアワー(研究室)水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時
(※会議のある日を除く)

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 20%。

また、授業を4回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト:『新日本語の基礎Ⅱ』(スリーエーネットワーク、2,524 円税抜き)

参考文献:文献等については、講義中に適時紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】ア～シ行を勉強してくること(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
②	第2課 授受	【予習】～をくださいませ、やります。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
③	第3課 動詞の辞書形	【予習】～ために、～(の)に。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
④	第4課 動詞のます形	【予習】～そうです。～て来ます。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑤	第5課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】ス～ノ行を勉強してくること(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑥	第6課 形容詞+すぎます1	【予習】～く/にします。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑦	第7課 形容詞+すぎます2	【予習】～すぎました。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑧	第8課 動詞の肯定、否定形	【予習】～します。～にくいです。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑨	第9課 辞書形	【予習】～場合は、～。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑩	第10課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】ハ～ン行を勉強してくること(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑪	第11課 普通形+ようです	【予習】～ようです。～そうです。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑫	第12課 使役の用法	【予習】～は～を～(さ)せます。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑬	第13課 尊敬	【予習】～(ら)れます。の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑭	第14課 謙譲語	【予習】お/ご～します。特別な謙譲動詞の表現を勉強しておくこと(30) 【復習】授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ	【予習】及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(60)
⑯	定期試験	

科目名	仏教学の基礎			担当教員名	水野 和彦	
サブタイトル	仏教の基礎を学ぶ			授業コード	C11010	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・ 仏教の基本的概念を学習し、その意味を説明することができる。
- ・ 仏教思想を深く理解し、他の宗教にはない特徴を他者に説明することができる。
- ・ 生きる上で仏教の思想を活かすことができる。

〈授業概要〉

本授業では、仏教の基本的用語から仏伝、仏教史などについて、臨済宗妙心寺派発行『臨済禅ハンドブック』をテキストとして使用する。授業のなかで、テーマを設定して時折、基本的概念の理解や暗記を問う、小テストを行う。授業の説明では理解できない用語は、できる限り辞書やネット検索などで復習する習慣をつけ、より深く習熟できる努力を望む。授業の進度は、テーマや受講生の習熟度によって若干変更あり。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

レポート課題・定期試験(80%)、授業で課する課題の取り組み(20%)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』(妙心寺派宗務本所) 1,000円
『勤行聖典』

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第三版』岩波書店 9,990円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27,000円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。

その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと授業の進め方など (講義)	【予習】 シラバスを読む (20) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
②	第1章 宗教について (講義)	【予習】 テキスト (p1-p4) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
③	第2章 仏教概論 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p5-p11) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
④	第3章 中国禅宗史 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p12-p17) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑤	第4章 日本禅宗史 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p18-p28) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑥	仏教、仏教史、禅宗史のまとめ (講義)	【予習】 第1章から第4章までの復習 (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑦	第5章 妙心寺の歴史 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p29-p35) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑧	第6章 禅の教え (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p36-p40) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑨	第7章 お経(経典)に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p41-p45) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑩	妙心寺、禅の教え、経典のまとめ	【予習】 第5章から第7章までの復習 (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑪	第8章 伝統行事に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p46-p49) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑫	第9章 禅の文化 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p50-p56) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑬	第10章 仏教用語 (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p57-p60) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑭	第11章 禅語に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】 テキスト (p61-p69) の読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑮	伝統行事、禅の文化のまとめ	【予習】 第8章から第11章までの復習 (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑯	筆記試験	

科目名	禅宗史概論			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	仏教と社会			授業コード	C11020	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・禅宗が利他主義の大乗仏教教団であることを再認識できる。
- ・日本中世の仏教観の大きな転換となった「鎌倉新仏教中心論」から「顕密体制論」への移行を理解することができる。
- ・ポスト顕密体制論を模索する広い視野を持つことができる。

〈授業概要〉

中国・日本にわたって禅宗の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から禅宗と社会の関係、つまり禅僧や禅宗教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

中国・日本の一般的な歴史を再確認し、その中に禅宗史を位置づけていく予定です。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：水曜日午後 15 時～16 時（※会議のある日を除く）

木曜日午前 10 時～11 時

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 70%程度）と授業への取り組み（20%）と適宜提出していただく小レポート（10%）で成績を評価します。なお、授業を 4 回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,320 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	中国仏教の基本的性格 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	中国禅宗の成立 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	中国禅宗の展開 1 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	中国禅宗の展開 2 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	禅の日本伝来 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	中世前期の日本仏教 1 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	中世前期の日本仏教 2 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「いわゆる」付の「純粹禅」 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	四六駢儷文と偈頌 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	中世後期社会と日本禅宗 1 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	中世後期社会と日本禅宗 2 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	中世禅僧の坐禅工夫 (講義)	【予習】 レジユメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	禅学の基礎			担当教員名	山川 宗玄	
サブタイトル	“さとり”と本来の自己(面目)			授業コード	C11030	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水・4	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		正眼寺住職、師家、妙心寺派管長		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・「禅宗四部録」を読み下しができ、その内容を理解できる。
- ・達磨から現在の日本禅への法の流れを、大略、理解、説明できる。
- ・「禅宗四部録」の中の「坐禅儀」「十牛図」に頭われていることが理解できて説明することができる。

〈授業概要〉

禅の基本理念は、この「禅宗四部録」に種々の表現で述べられているが、学生諸君がその内容を理解するに従い、「自心」の参究に真剣に挑んでもらえればと思う。

〈質疑応答〉

質問等については授業後受け付けます。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

- ・開講式には出席のこと。
- ・4/29～30の越前オリエンテーションに出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。
- ・授業を4回以上欠席すると、定期(筆記)試験への受験資格を失う。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：作成・配布する

参考文献：禅語録 16『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』筑摩書房等

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 仏法、その伝法の概略 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	ガイダンス 「禅宗四部録」について (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
③	ガイダンス 「坐禅儀」と坐禅について (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
④	「坐禅儀」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑤	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑥	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑦	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑧	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑨	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑩	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑪	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑫	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑬	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	「十牛図」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	「十牛図」(まとめ) (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容を確認 (60)
⑯	筆記試験	

科目名	仏教史概論			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	仏教と社会			授業コード	C11040	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春		2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・ 仏教の基本教説を習得し、その意味を説明することができる。
- ・ 小乗仏教と大乘仏教の明確な差異を説明することができる。
- ・ ポスト近代仏教（仏教の近代主義）を模索する広い視野を持つことができる。

〈授業概要〉

インド・東南アジア・東アジアにわたって仏教の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から仏教と社会の関係、つまり仏僧や仏教教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

インド・東南アジア・東アジアの一般的な歴史を再確認し、その中に仏教史を位置づけていく予定です。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：水曜日午後 15 時～16 時（※会議のある日を除く）

木曜日午前 10 時～11 時

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 70%程度）と授業への取り組み（20%）と適宜提出していただく小レポート（10%）で成績を評価します。なお、授業を 4 回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,320 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	仏教興起以前のインド (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	原始仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	インド仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	小乗仏教と大乘仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	東南アジアの仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	大乘仏教の菩薩思想 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	日本中世の仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	日本仏教の戒律 一菩薩の精神の自覚一 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	日本近世の仏教 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	近代仏教(仏教の近代主義) (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	仏教の近代主義と仏教の基本教説 (講義)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	禅と人間			担当教員名	山川 宗玄	
サブタイトル	“さとり”と本来の自己(面目)			授業コード	C11050	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	秋	水・4	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		正眼寺住職師家、妙心寺派管長		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・「禅宗四部録」を読み下しができ、その内容を理解できる。
- ・達磨から現在の日本禅への法の流れを、大略、理解、説明することができる。
- ・「禅宗四部録」の中の「信心銘」「証道歌」に頭われていることが理解できて説明することができる。

〈授業概要〉

禅の基本理念は、この「禅宗四部録」の「信心銘」「証道歌」に縦横が述べられているが、学生諸君がその内容を理解するに従い、「自心」の参究に真剣に挑んでももらえればと思う。

〈質疑応答〉

質問については、授業後、受付けます。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

- ・定期試験（70％）と授業への取り組み（30％）で単位認定をする。
- ・授業を4回以上欠席すると、定期（筆記）試験への受験資格を失う。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：作成・配布する

参考文献：禅の語録 16『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』筑摩書房等

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 仏法、達磨までの系譜 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	ガイダンス 「禅宗四部録」について (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ガイダンス 「信心銘」「証道歌」について (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	「信心銘」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	「証道歌」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	「証道歌」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	「証道歌」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	「証道歌」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	「証道歌」 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句を調べ、内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	「証道歌」まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容を確認(60)
⑯	筆記試験	

科目名	提唱・禅語録 I a/II a			担当教員名	山川 宗玄	
サブタイトル	さとのり説法、人生講義			授業コード	C11061/C11071	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水・1	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		正眼寺住職師家、妙心寺派管長		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・禅の修行のプロセスを理解することができる。
- ・漢文の読解力を高め、仏法の根本概念を理解できる。
- ・個と人の様々な問題に対して、解決意志力を向上させることができる。

〈授業概要〉

提唱とは提(ひっさ)げ唱(とな)えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは、一般の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家(しけ)というが、師家の実体験を丸出しにした説法である。修行の方向と、人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履(あんり)を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与すればと思う。尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共に聴講となるが、その形式も含めてが提唱である。

今年度は「臨濟録」を講本とするが、臨濟禅の根本の語録から修行の意味、方向について理解を深めてもらいたい。

〈質疑応答〉

質問等については授業後受け付けます。但し提唱の後は不可。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

- ・開講式には出席のこと。
- ・4/29～30の越前オリエンテーションに出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。
- ・授業を4回以上欠席すると、定期(筆記)試験への受験資格を失う。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：作成・配布する。

参考文献：中村文峰著「臨濟録」(大蔵出版)その他多数あり

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイダンス (講義) 祖師の語録の意味	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	提唱ガイダンス (講義) 達磨から臨済禅師への系譜	【予習】 「禅宗四部録」について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
③	提唱 「臨済録」序	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
④	「臨済録」上堂	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑤	「臨済録」上堂	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑥	「臨済録」上堂	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑦	「臨済録」上堂	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑧	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑨	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑩	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑪	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑫	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑬	「臨済録」示衆	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	「臨済録勘弁」まとめ	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認 (60)
⑯	筆記試験	

※但し、僧堂との兼ね合いで、必ずしもこの順番通りではない。

科目名	提唱・禅語録 I b/II b			担当教員名	山川 宗玄	
サブタイトル	さとのり説法、人生講義			授業コード	C11062/C11072	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1/2	秋	水曜日・1	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		正眼寺住職師家、妙心寺派管長		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・禅の修行のプロセスを理解することができる。
- ・漢文の読解力を高め、仏法の根本概念を理解できる。
- ・個と人の様々な問題に対して、解決意志力を向上させることができる。

〈授業概要〉

提唱とは提（ひっさ）げ唱（とな）えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは、一般の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家（しけ）というが、師家の実体験を丸出しにした説法である。修行の方向と人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履（あんり）を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与すればと思う。尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共に聴講となるが、その形式も含めてが提唱である。秋学期も、「臨濟録」を講本とするが、修行の意味、方向について能く考え理解を深めてもらいたい。

〈質疑応答〉

質問等については授業後受け付けます。但し提唱後は不可。

〈学生へのフィードバック〉

口頭でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

- ・開講式には出席のこと。
- ・定期試験（70%）と授業への取り組み（30%）で単位認定をする。
- ・授業を4回以上欠席すると、定期（筆記）試験への受験資格を失う。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：作成・配布する。

参考文献：中村文峰著「臨濟録」（大蔵出版）その他多数あり

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイドランス 祖師語録の意味 (講義)	【予習】 シラバスを読み、概略の把握 (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	提唱ガイドランス 達磨より臨済に到る系譜 (講義)	【予習】 「坐禅儀」について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認のまとめ (30)
③	他の語録にみる臨済 (講義)	【予習】 「無門関」について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
④	他の語録にみる臨済 (講義)	【予習】 「無門関」について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑤	他の語録にみる臨済 (講義)	【予習】 碧巖録について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑥	提唱 「臨済録」示衆	【予習】 碧巖録について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑦	「臨済録」示衆	【予習】 碧巖録について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑧	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑨	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑩	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑪	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑫	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑬	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	「臨済録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる (30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	提唱「臨済録勘弁」のまとめ	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認 (60)
⑯	筆記試験	

※但し、僧堂との兼ね合いで、必ずしもこの順番通りではない。

科目名	卒業実践研究 a			担当教員名	各指導教官	
サブタイトル	随処に主となる			授業コード	C21081	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水・5	卒業実践研究b と合わせて2	講義	15	必修
実務経験の有無	－	実務経験(職業等)		－		

〈DP〉

④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・参考文献や資料を活用し、各自の表現で論文を書くことができる。
- ・実技やフィールドワーク等による実践記録を作成し、諸問題について分析できる。
- ・卒業実践研究発表会において、実践論文の成果を各自の言葉で報告できる。

〈授業概要〉

卒業実践研究は、みなさんの興味関心のあるテーマを選定し、「論文研究」と「実践研究」のうちいずれか1つを選択します。「論文研究」は指導教官のもとで論文を作成し、「実践研究」は指導教官のもとでフィールドワークや作品制作などを行い、実践記録を作成しながら実践の習得に努めるものです。

1回生の後期に研究のためのアンケートを行い、各自のテーマにより指導教官が発表されます。「論文研究」は、指導教官のもとで資料を集め、文献講読などを行い、論文の骨子、章立てを作成し、論文の執筆を行い仕上げます。「実践研究」は、指導教官のもとでテーマにそって計画的に実践を行い、フィールドワークや作品制作などを通して実践記録にまとめあげます。

論文や実践記録の作成の途中で、2回の発表会を行い、その後教務部へ研究題目の提出をします。研究の提出後は、全学合同発表会にて発表を行います。

※卒業実践研究b〈秋学期〉から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究a〈春学期〉に準じます。

〈質疑応答〉

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

〈学生へのフィードバック〉

個別対応。担当指導教官と相談してください。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

主査・副査の評価(40%程度)および発表の審査点(60%程度)による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：

参考文献：

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	卒業実践研究について（教務部ガイダンス）	卒業実践研究の計画を立てる（120）
②	アンケートにより指導教官の発表	指導教官との話し合いをもつ（60）
③	「論文研究」「実践研究」の体裁について	研究に必要な文献・資料等を調べ、「論文研究」か「実践研究」のいずれかを選択して決める（180）
④	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑤	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑥	研究指導：文献・資料のまとめ	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑦	卒論構想発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意する（120）
⑧	研究指導：文献・資料のまとめ *ワードあるいは一太郎の設定の方法 *脚注の作成の方法 *図表等の作成の方法	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑨	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180） （実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑩	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180） （実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑪	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180） （実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑫	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120） （実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑬	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120） （実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑭	卒論中間発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意すること（120）
⑮	研究指導： （論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180） （実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑯	休業中	ワードソフトを使って、論文あるいは実践記録を実際に作成する（360）

科目名	卒業実践研究 b			担当教員名	各指導教官	
サブタイトル	随処に主となる			授業コード	C21082	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水・5	卒業実践研究a と合わせて2	講義	15	必修
実務経験の有無	—	実務経験(職業等)		—		

〈DP〉

④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・参考文献や資料を活用し、各自の表現で論文を書くことができる。
- ・実技やフィールドワーク等による実践記録を作成し、諸問題について分析できる。
- ・卒業実践研究発表会において、実践論文の成果を各自の言葉で報告できる。

〈授業概要〉

卒業実践研究は、卒業実践研究 a を受けて、構想により「論文研究」あるいは「実践研究」を指導教官のもとですすめ、ワードファイルに保存したうえで、A4用紙に印刷し、期限日までに教務部へ論文一式を提出します。その後、全学合同発表会で各自発表を行います。

※卒業実践研究 b (秋学期) から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究 a (春学期) に準じます。

〈質疑応答〉

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

〈学生へのフィードバック〉

個別対応。担当指導教官と相談してください。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

主査・副査の評価(40%程度)および発表の審査点(60%程度)による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：

参考文献：

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
②	第1次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
③	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
④	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑤	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑥	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑦	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑧	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑨	第2次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
⑩	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑪	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑫	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑬	第3次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
⑭	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑮	実践論文提出	最終訂正を行い、論文一式を整える(120)
⑯	卒業実践論文発表会	発表するための準備をする(120)

科目名	布教学a			担当教員名	松久 宗心	
サブタイトル	仏心を共有する暖かさ			授業コード	C12091	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職		

〈DP〉

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・布教学を学ぶことにより、人の前で自信をもって話をするができる。
- ・布教学を学ぶことにより、建学の精神について、積極的に討論できる。
- ・布教学を学ぶことにより、布教の実践体験を重ね、主体的自己を確立することができる。

〈授業概要〉

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、通仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とする。通仏教や禅の学習・体験から得た自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。毎回次週の資料を提供し、各自の法話を学生同士が互評で切磋し、講師が講評を加えるという実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

〈質疑応答〉

授業内容・資料に対する質疑は、授業中・授業後随時受け付けます。

〈学生へのフィードバック〉（振り返りのためのアドバイス）

口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は定期試験（筆記試験 50%）、授業での法話発表（30%）、授業への取り組み姿勢（20%）により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：毎回次週の資料を配布します

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	布教の心得 [1]	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する (30) 【復習】 資料を読んで内容を把握する (90)
②	布教の心得 [2]	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に自問自答する (60)
③	仏教の基礎—生死	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
④	仏教の基礎—仏道	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑤	仏教の基礎—父母	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑥	仏教の基礎—三宝・縁起	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑦	法話実習	【予習】 以前の課題を基に法話原稿を作る (60) 【復習】 自作法話を点検する (60)
⑧	仏教の基礎—三法印	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑨	仏教の基礎—四諦	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑩	仏教の基礎—八正道	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑪	仏教の基礎—四摂法	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑫	仏教の基礎—六波羅蜜・無財の七施	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑬	仏教の基礎—四無量心	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑭	仏教の基礎—五戒	【予習】 資料を読んで内容を把握する (60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る (60)
⑮	法話実習	【予習】 以前の課題を基に法話原稿を作る (60) 【復習】 自作法話を点検する (60)
⑯	筆記試験	

科目名	布教学b			担当教員名	松久 宗心	
サブタイトル	仏心を共有する暖かさ			授業コード	C12092	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職		

〈DP〉

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・布教学を学ぶことにより、人の前で自信をもって話をすることができる。
- ・布教学を学ぶことにより、建学の精神について、積極的に討論できる。
- ・布教学を学ぶことにより、布教の実践体験を重ね、主体的自己を確立することができる。

〈授業概要〉

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、通仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とする。通仏教や禅の学習・体験から得た自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。毎回次週の資料を提供し、各自の法話を学生同士が互評で切磋し、講師が講評を加えるという実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

〈質疑応答〉

授業内容・資料に対する質疑は、授業中・授業後随時受け付けます。

〈学生へのフィードバック〉（振り返りのためのアドバイス）

口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は定期試験（筆記試験 50%）、授業での法話発表（30%）、授業への取り組み姿勢（20%）により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：毎回次週の資料を配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	禅の基礎—般若心経	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する(30) 【復習】 資料を読んで内容を把握する(90)
②	禅の基礎—通戒七仏の偈	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
③	禅の基礎—宿世の善根	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
④	禅の基礎—不立文字	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑤	禅の基礎—至道無難	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑥	禅の基礎—妄想を除かず	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑦	法話実習	【予習】 以前の課題を基に法話原稿を作る(60) 【復習】 自作法話を点検する(60)
⑧	禅の基礎—本来無一物	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑨	禅の基礎—平常心是道	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑩	禅の基礎—一日なさざれば	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑪	禅の基礎—日々是好日	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑫	禅の基礎—無事是貴人	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑬	禅の基礎—正念相続	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑭	禅の基礎—衆生本来仏なり	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60) 【復習】 資料を基に法話原稿を作る(60)
⑮	法話実習	【予習】 以前の課題を基に法話原稿を作る(60) 【復習】 自作法話を点検する(60)
⑯	筆記試験	

科目名	僧侶必携a			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	人権問題を学ぶ			授業コード	E11112	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・命の尊さや人間の尊厳について理解することができる。
- ・人権侵害や差別の解消への意識が高められる。
- ・仏教者として他人の立場になって行動ができる。

〈授業概要〉

現代社会では、同和問題をはじめ、性差、障害者、人種、民族、エイズ・ハンセン病の患者、子ども・高齢者に対しての人権侵害や差別、また、いじめ・虐待による死やセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、モラルハラスメントなどの行為がみられます。これらの人権侵害や差別は、内容には違いがありますが、わが国ばかりではなく世界共通の社会問題となっています。本講義では、僧侶を目指す学生が、人権問題について関心を持ち、正しく認識し、解決に向けて努力しようとする姿勢や方法を学ぶことを目的とします。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス：オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス：授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行います。鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、定期試験（筆記試験 70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、課題レポート（20%程度）により行います。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『人権ハンドブックーいま私たちが向き合うべき人権問題ー』（妙心寺派宗務本所）1,000円
配布資料：プリントを配布します。

参考文献：授業で紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに－人権とは何か－	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	さまざまな人権課題 ・女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権 ・障害のある人の人権	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	社会問題としての人権課題(その1) ・同和問題・アイヌの人々の人権・外国人の人権 ・HIV感染者・ハンセン病患者の人権	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	社会問題としての人権課題(その2) ・刑を終えて出所した人の人権・犯罪被害者とその家族の人権・ホームレスの人びとの人権・北朝鮮当局による人権侵害・人身取引の人権問題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	社会問題としての人権課題(その3) ・原子力発電・震災に起因する人権問題・自殺者とその家族の人権・沖縄問題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	新たなる人権課題(その1) ・ハラスメント・インターネットを悪用した人権侵害・性的指向に関する人権問題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	新たなる人権課題(その2) ・性自認に関する人権侵害・脳死・臓器移植における人権・見た目に症状がある人の人権	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	DVD視聴：人権侵害や差別の内容に関するもの	【予習】視聴の内容についてあらかじめ調べて把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	諸外国における現代の人権課題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	日本の人権政策について ※課題レポート提出	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	仏教と人権	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	経典や規矩にみられる人権問題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	妙心寺派と人権問題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	妙心寺派教団の重点課題	【予習】プリントとテキストの該当箇所を読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	僧侶必携b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	宗門人の基礎知識			授業コード	C12102	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・仏教や禅の基礎知識についての理解を深めることができる。
- ・仏教や禅の意義について他者に向かって表現することができる。
- ・仏教や禅の知識に即して寺門の運営や檀信徒の教化ができる。

〈授業概要〉

臨済宗妙心寺派では、前堂職法階取得の研修会の際、僧侶としての一般教養、専門教養の習熟度の筆記試験が行われる。一般社会教養として、春学期に『人権ハンドブック』を学習するが、秋学期では、宗門人としての専門教養『臨済禅ハンドブック』をテキストとして、仏教、禅の基礎知識を習得する。本講義では、このテキストを使用し講義、小テストを行う。それぞれ各個人には、授業の事前にテキストの熟読を望む。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

毎回の小テスト、筆記試験、レポート(80%)、授業で課する課題の取り組み(20%)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』（妙心寺派宗務本所） 1,000 円

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第三版』岩波書店 9,990 円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版
会 1,575 円

その他講義中に適宜紹介

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと授業の進め方など (講義)	【予習】シラバスを読む(20) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
②	第1章 宗教について (講義)	【予習】テキスト(p1-p4)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
③	第2章 仏教概論 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p5-p11)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
④	第3章 中国禅宗史 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p12-p17)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑤	第4章 日本禅宗史 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p18-p28)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑥	仏教、仏教史、禅宗史のまとめ (講義)	【予習】第1章から第4章までの復習(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑦	第5章 妙心寺の歴史 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p29-p35)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑧	第6章 禅の教え (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p36-p40)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑨	第7章 お経(経典)に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p41-p45)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑩	妙心寺、禅の教え、経典のまとめ	【予習】第5章から第7章までの復習(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑪	第8章 伝統行事に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p46-p49)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑫	第9章 禅の文化 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p50-p56)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑬	第10章 仏教用語 (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p57-p60)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑭	第11章 禅語に学ぶ (講義、小テスト)	【予習】テキスト(p61-p69)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑮	伝統行事、禅の文化のまとめ	【予習】第8章から第11章までの復習(45) 【復習】授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

科目名	坐禅 I a/IIa			担当教員名	青井 有信	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう			授業コード	D31011/D31021	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	木・2	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞雲寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の精神を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

〈授業概要〉

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は授業後に受け付けますので聞いてください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

口答または書面でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

授業に取り組む姿勢（30%程度）とレポートまたは筆記試験（70%程度）によって単位認定評価をします。授業時数15回のうち4回以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。

※7.5コマ分については、通学生は別紙にて確認し、各自出席してください。
（欠席するとコマ数が足りなくなります。）

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所 1,320円）

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

科目名	坐禅 I b/II b			担当教員名	青井 有信	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう			授業コード	D31012/D31022	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	木・2	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞雲寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の精神を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

〈授業概要〉

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は授業後に受け付けますので聞いてください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

口答または書面でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

授業に取り組む姿勢(30%程度)とレポートまたは筆記試験(70%程度)によって単位認定評価をします。授業時数15回のうち4回以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。

※7.5コマ分については、通学生は別紙にて確認し、各自出席してください。
(欠席するとコマ数が足りなくなります。)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所 1,320円）

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】身の回りを整頓し体調を調べておく (30) 【復習】授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

科目名	作務 I a / II a			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	動く坐禅			授業コード	I a / D31031 II a / D31041	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水・1	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP(ディプロマポリシー)〉

①建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。②主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合同で作務を行うことで和合(僧)の大切さが理解できる。
- ・動中の工夫により、人間として生まれた中での尊厳的な気づきができる。

〈授業概要〉

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静での工夫も、実生活の場の動の工夫も隔てを忘れるほどの専一工夫に行ずるものである。白隠曰く、『大慧禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千億倍す」』との語を残されている。身体を動かしながらも心はひたすら禅の探求に向けなければならない。この授業では、作務を行わずに自己の内面に向き合い、精神的身体的両面から大なり小なりの悟り(ここでは気づき)に接することで、自分がこの世界で成すべき使命や目的の発見を、生き活きと体感して学んでもらうものです。

なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

〈質疑応答〉

理解できない内容については、授業後受け付けます。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

正眼短大公開講座作務荷担、正眼緑蔭講座作務摂心・荷担、学内大掃除(通学生は 7.5 コマ分)に参加すること。(欠席するとコマ数が足りなくなります。)

授業へ取り組む姿勢(50%)と筆記試験(50%)によって単位を認定評価します。

授業時数15回のうち4回以上欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1,620 円

白隠禅師法語全集第二冊『於仁安佐美 卷之上・卷之下』訳注・芳澤勝弘 編集・発行 禅文化研究所 2,500 円+税

白隠禅師法語全集第九冊『遠羅天釜上・中・下・續集』訳注・芳澤勝弘 編集・発行 禅文化研究所 3,300 円+税

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義(作務の意義・進め方等の説明)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	除草・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	除草・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	松の剪定	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	梅干し作り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	竹箒作り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	講義及びグループワーク	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

※外掃除の雨天時は校舎内清掃等とする。気候や準備の都合上、内容が変更する場合がございます。

科目名	作務 I b / II b			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	動く坐禅			授業コード	I b / D31032 II b / D31042	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水・4	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP(ディプロマポリシー)〉

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合同で作務を行うことで和合(僧)の大切さが理解できる。
- ・動中の工夫により、人間として生まれた中での尊厳的な気づきができる。

〈授業概要〉

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静での工夫も、実生活の場の動の工夫も隔てを忘れるほどの専一工夫に行ずるものである。白隠曰く、『大慧禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千億倍す」』との語を残されている。身体を動かしながらも心はひたすら禅の探求に向けなければならない。この授業では、作務を行うことで自己の内面に向き合い、精神的身体的両面から大なり小なりの悟り(ここでは気づき)に接することで、自分がこの世界で成すべき使命や目的の発見を、生き活きと体感して学んでもらうものです。

なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

〈質疑応答〉

理解できない内容については、授業後受け付けます。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

開山忌作務荷担、学内大掃除、正眼短大公開講座作務荷担(通学生は 7.5 コマ分)に参加すること。(欠席するとコマ数が足りなくなります。)

授業へ取り組む姿勢(50%)と筆記試験(50%)によって単位を認定評価します。

授業時数15回のうち4回以上欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1,620 円

白隠禅師法語全集第二冊『於仁安佐美 卷之上・卷之下』訳注・芳澤勝弘 編集・発行 禅文化研究所、2,500 円+税

白隠禅師法語全集第九冊『遠羅天釜上・中・下・續集』訳注・芳澤勝弘 編集・発行 禅文化研究所、3,300 円+税

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義(作務の意義・進め方等の説明)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	竹細工(柄杓作り)	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	除草・剪定・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	干し柿作り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	松の剪定	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	学内清掃・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	わらじ作り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	沢庵干し	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	沢庵漬け	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	注連縄作り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	餅つき	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	学内清掃・外掃除	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	薪割り	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	講義及びグループワーク	【予習】参考文献で、授業内容について調べる(30) 【復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

※外掃除の雨天時は校舎内清掃等とする。気候や準備の都合上、内容が変更する場合がございます。

科目名	禅の作法と心得 a			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本			授業コード	D22051	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水・2	1	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。禅について専門的知識を習得している。

社会は全てが歴史の積み重ねであることを踏まえ、歴史のある禅は諸道に通じるものであることを学び確信し、豊かな素養を生かしながら、たとえ見えない存在であっても歴史の中での貴重な一員となることができる。

〈到達目標〉

- ・「本山本派安居会」入山考査・修了考査で求められる経典諷誦を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司(仏殿のことをつかさどる役職)も視野にいれた基本を修得できる。

〈授業概要〉

「本山本派安居会」入山考査・修了考査で求められる経典諷誦・作法を実習します。

受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。さらに、受講者は型を修得するために授業後の復習(反復練習)を十分に行うことを課題とします。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、事務局まで訪ねて来てください。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(70%程度)と授業への取り組み(30%)で成績を評価します。

なお、4回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト:『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,000 円)。

三経合本(貝葉書院)税込 1,980 円

『江湖法式梵唄抄 改編版』吹田良忠監修(発行 禅文化研究所、税別 5,000 円)

『江湖法式梵唄抄』加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修、『江湖法式梵唄抄別冊』

吹田良忠監修(禅文化研究所、平成 21 年再版)。

参 考 書:『小叢林略清規』(編集・禅文化研究所)絶版ですが逸外記念図書館にて閲覧可能。

配布資料:適宜配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに 臨済宗における基礎用語等 (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	飯台座の作法、食事のお経 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	般若心経、消災呪、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	飯台看の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	大悲呪、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	大悲呪・木魚なし (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	開甘露門、施餓鬼略回向、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	開甘露門・木魚なし (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	仏頂尊勝陀羅尼、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	仏頂尊勝陀羅尼・木魚なし (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	観音経、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	観音経、拳経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	法鼓の打ち方	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	僧堂の生活	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

内容や順番等、講義の進み具合に応じて変更する場合がございます。

また、学生雲水コース・沙門コース・首座コースの方は、お経の暗記をお薦めします。

科目名	禅の作法と心得b			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本			授業コード	D22052	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	水・2	1	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。禅について専門的知識を習得している。

社会は全てが歴史の積み重ねであることを踏まえ、歴史のある禅は諸道に通じるものであることを学び確信し、豊かな素養を生かしながら、たとえ見えない存在であっても歴史の中での貴重な一員となることができる。

〈到達目標〉

- ・「本山本派安居会」入山考査・修了考査で求められる経典諷誦を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司(仏殿のことをつかさどる役職)も視野にいれた基本を修得できる。

〈授業概要〉

「本山本派安居会」入山考査・修了考査で求められる経典諷誦・作法を実習します。

受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。さらに、受講者は型を修得するために授業後の復習(反復練習)を十分に行うことを課題とします。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、事務局まで訪ねて来てください。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(70%程度)と授業への取り組み(30%)で成績を評価します。

なお、4回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト:『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,000 円)。

『江湖法式梵唄抄 改編版』吹田良忠監修(発行 禅文化研究所、税別 5,000 円)

『江湖法式梵唄抄』加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修、『江湖法式梵唄抄別冊』

吹田良忠監修(禅文化研究所、平成 21 年再版)。

参 考 書:『小叢林略清規』(編集・禅文化研究所)絶版ですが逸外記念図書館にて閲覧可能。

配布資料:適宜配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	短いお経の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	宗門安心章の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	和讃、遺誡等、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	楞嚴呪の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	楞嚴呪の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	楞嚴行道の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	金剛経の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	金剛経の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	金剛経の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	在家葬儀のお経、鳴らし物、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	在家葬儀の役僧作法 (DVD・講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	施食会のお経の読み方、挙経・打磬等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	施食会の鼓鉢等の作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

内容や順番等、講義の進み具合に応じて変更する場合がございます。また、学生雲水コース・沙門コース・首座コースの方は、お経の暗記をお勧めします。

科目名	仏教学 a			担当教員名	水野 和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう			授業コード	E12011	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

〈授業概要〉

本授業では、仏教最古の経典のひとつである『真理のこぼ』を扱う。『ダンマパダ』(法句経)ともよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗教義と共通点も多い。授業では南伝仏教に残っている因縁話(アッタカター)を中心に、これらのこぼの背景を考察する。また、授業中に受講生に仏教教理の説明や自らの経験をふまえ共感できるエッセイなどを作ってもらい、発表してもらおう(一人1~2回程度)。今年度は、第18章「汚れ」から始める。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

レポート課題・定期試験(80%)、授業で課する課題の取り組み(20%)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト:中村元『ブッダの真理のこぼ 感興のこぼ』(岩波文庫) 1,220円

配布資料:プリント配布します。

参考文献:ウ・ヴィッジャーナンダ大長老監修 北嶋泰観訳注『パーリ語仏典 ダンマパダ』(中山書房仏書林)22,000円

片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版)9,720円

及川真介『仏の真理のこぼ註』(1)~(4)(春秋社)各16,000円前後

他、授業中に適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは(ダンマパダ)とはなにか (講義)	【予習】シラバスを読む(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
②	ダンマパダ読解 第18章 汚れ① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
③	ダンマパダ読解 第18章 汚れ② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
④	ダンマパダ読解 第18章 汚れ③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	ダンマパダ読解 第19章 法行者① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ダンマパダ読解 第19章 法行者② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	ダンマパダ読解 第19章 法行者③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	ダンマパダ読解 第18章、19章まとめ (講義・個人発表)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	ダンマパダ読解 第20章 道① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	ダンマパダ読解 第20章 道② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	ダンマパダ読解 第20章 道③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	ダンマパダ読解 第21章 雑多① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	ダンマパダ読解 第21章 雑多② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	ダンマパダ読解 第21章 雑多③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	ダンマパダ読解 第20章、21章まとめ (講義・個人発表)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

科目名	仏教学 b			担当教員名	水野 和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう			授業コード	E12012	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

〈授業概要〉

本授業では、仏教最古の経典のひとつである『真理のこぼ』を扱う。『ダンマパダ』(法句経)ともよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗教義と共通点も多い。授業では南伝仏教に残っている因縁話(アッタカター)を中心に、これらのこぼの背景を考察する。また、授業中に受講生に仏教教理の説明や自らの経験をふまえ共感できるエッセイなどを作ってもらい、発表してもらおう(一人1~2回程度)。今年度は、第18章「汚れ」から始める。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

レポート課題・定期試験(80%)、授業で課する課題の取り組み(20%)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト:中村元『ブッダの真理のこぼ 感興のこぼ』(岩波文庫)1,220円

配布資料:プリント配布します。

参考文献:ウ・ヴィツジャーナンダ大長老監修 北嶋泰観訳注『パーリ語仏典 ダンマパダ』(中山書房仏書林)22,000円

片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版)9,720円

及川真介『仏の真理のこぼ註』(1)~(4)(春秋社)各16,000円前後

他、授業中に適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは(ダンマパダ)とはなにか (講義)	【予習】シラバスを読む(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
②	ダンマパダ読解 第22章 地獄① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
③	ダンマパダ読解 第22章 地獄② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
④	ダンマパダ読解 第22章 地獄③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	ダンマパダ読解 第23章 象① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ダンマパダ読解 第23章 象② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	ダンマパダ読解 第23章 象③ (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	ダンマパダ読解 第22章、23章まとめ (講義・個人発表)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	ダンマパダ読解 第24章 渴愛① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	ダンマパダ読解 第24章 渴愛② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	ダンマパダ読解 第25章 比丘① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	ダンマパダ読解 第25章 比丘② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	ダンマパダ読解 第26章 バラモン① (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	ダンマパダ読解 第26章 バラモン② (講義・史料講読)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	ダンマパダ読解 第24章～26章まとめ (講義・個人発表)	【予習】配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

科目名	禅学a			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	禅宗と中世後期社会			授業コード	E12021	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	木・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

〈授業概要〉

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密（顕教と密教。旧仏教）との関係を考察することにも、きつとつながっていくはずで

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：火曜日、水曜日（※会議のある日を除く）、

木曜日の 15：30～17：00。事前に予約してください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 50%）と報告内容（30%）、議論への参加（20%）で成績を評価します。なお、授業を4回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『東海一休和尚年譜』（平野宗浄「一休和尚年譜の研究」〈『禅文化研究所紀要』七、1975年）。同書は真珠庵蔵本（真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本）を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』 応永元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』 応永十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』 応永十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』 応永十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』 応永二十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』 応永二十三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』 応永二十五年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』 応永二十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』 応永二十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』 応永三十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』 応永三十四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』 正長元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』 永享四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	禅学b			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	禅宗と中世後期社会			授業コード	E12022	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	木曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

〈授業概要〉

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密（顕教と密教。旧仏教）との関係を考察することにも、きつとつながっていくはずで

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：火曜日、水曜日（※会議のある日を除く）、

木曜日の 15：30～17：00。事前に予約してください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 50%）と報告内容（30%）、議論への参加（20%）で成績を評価します。なお、授業を4回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『東海一休和尚年譜』（平野宗浄「一休和尚年譜の研究」〈『禅文化研究所紀要』七、1975年）。同書は真珠庵蔵本（真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本）を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』永享八年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』嘉吉元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』文安元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』文安四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』宝徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』享徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』長禄元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』長禄三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』寛正元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』寛正二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』応仁元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』文明六年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』文明十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	仏教史a			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	仏教と社会			授業コード	E12031	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・日本仏教が利他主義の大乗仏教教団であることを再認識できる。
- ・小乗仏教と大乗仏教の明確な差異を説明することができる。
- ・ポスト近代仏教（仏教の近代主義）を模索する広い視野を持つことができる。

〈授業概要〉

日本仏教の歴史を概説し、各回のテーマの象徴的な史料を参加者全員で解説します。この講義では、歴史学の観点から仏教と社会の関係、つまり仏僧や仏教教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか探っていきます。

一般的な日本史を再確認し、その中に仏教史を位置づけていく予定です。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：火曜日、水曜日（※会議のある日を除く）、

木曜日の 15：30～17：00。事前に予約してください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 50％）と報告内容（30％）、議論への参加（20％）で成績を評価します。なお、授業を4回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,320 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	仏教の国家的受容 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	鎮護国家の思想 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	南都六宗 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	平安仏教1―最澄― (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	平安仏教2―空海― (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	台密の完成 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	顕密八宗 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	最澄と大乘戒(梵網戒) (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	南都北嶺 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	寺社勢力による強訴 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	即位灌頂 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	王法と仏法 (講義・史料解説)	【予習】 レジューメを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	仏教史b			担当教員名	池田 文明	
サブタイトル	仏教と社会			授業コード	E12032	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、利海寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・日本仏教が利他主義の大乗仏教教団であることを再認識できる。
- ・小乗仏教と大乗仏教の明確な差異を説明することができる。
- ・ポスト近代仏教（仏教の近代主義）を模索する広い視野を持つことができる。

〈授業概要〉

日本仏教の歴史を概説し、各回のテーマの象徴的な史料を参加者全員で解説します。この講義では、歴史学の観点から仏教と社会の関係、つまり仏僧や仏教教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか探っていきます。

一般的な日本史を再確認し、その中に仏教史を位置づけていく予定です。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

オフィスアワー：火曜日、水曜日（※会議のある日を除く）、

木曜日の 15：30～17：00。事前に予約してください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験（レポート提出 50%）と報告内容（30%）、議論への参加（20%）で成績を評価します。なお、授業を4回以上欠席すると、レポート提出資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込 1,320 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	近代仏教研究の問題点 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	鎌倉仏教1 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	鎌倉仏教2 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	鎌倉新仏教中心論 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	宗派史観 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	顕密体制論1 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	顕密体制論2 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	権門体制論 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「禅教律」十宗観 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	ポスト顕密体制論 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	近世仏教 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	近代仏教(仏教の近代主義) (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	古典的仏教墮落論 (講義・史料解説)	【予習】レジュメを読んで内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	日本文化a			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみる江戸文化			授業コード	E12051	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・江戸時代の社会や文化について討論できる。
- ・古文を読み解釈することができる。

〈授業概要〉

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を通して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス: オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス: 授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行きます。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。

あわせて秋学期開講の「日本文化b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト: プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。

参考文献: 神坂次郎『元禄御豊奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(中央公論社 1984)

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	元禄6年癸酉の日記(読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	日本文化b			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみた江戸文化			授業コード	E12052	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金・3		講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・江戸時代の社会や文化について討論できる。
- ・古文を読み解釈することができる。

〈授業概要〉

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を通して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス: オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス: 授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行きます。

鈴木研究室 mail アドレス: suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。あわせて春学期開講の「日本文化a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト: プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。

参考文献: 神坂次郎『元禄御豊奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(中央公論社 1984)

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	元禄6年癸酉の日記(読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	// (読解文作成・発表)	【予習】 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	// (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	宗教思想 a			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	自力聖道門と他力浄土門			授業コード	E12071	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・自力と他力について学び説明することが出来る。
- ・禅と浄土の思想について学習しその相違点と類似性について考察することが出来る。
- ・仏教思想の教義について理解することが出来る。

〈授業概要〉

仏教には、さまざまな教えが展開されています。その中で「禅」と「浄土門」の二つの宗派があります。この二つの宗派は、「自力」と「他力」という対照的な教えを説いているのが特徴ですが、同時に、「禅と念仏」「禅念一如」という表現もされます。本講義では、この二つの宗教思想について研究します。

〈質疑応答〉

質問は講義中にして下さい。

オフィスアワー（研究室）水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時

（※会議のある日を除く）

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 80%・授業への取組み及び受講態度 20%

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

本講義はとても大切な内容を含みますので、教員の指示通り素直に学問に取り組む気持ちのない学生の履修を望みません。

尚、シラバスの授業計画・内容は前後します。内容によっては、いろいろな比喻などを用いて説明することがあります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要に応じて紹介します。

参考文献：必要に応じて資料を配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	佛教にいて1 (講義)	【予習】 仏教について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	仏教について2 (講義)	【予習】 宗派について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	仏教の伝来について1 (講義)	【予習】 仏教の教義について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	仏教の伝来について2 (講義)	【予習】 仏教と神道との関係について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	仏教の伝来について3 (講義)	【予習】 鎮護国家と加持祈祷について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	浄土思想について1 (講義)	【予習】 念仏についてその意義を考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	浄土思想について2 (講義)	【予習】 厭離穢土・欣求浄土について調べてくること(30)【復習】授業内容をまとめる(30)
⑧	浄土思想について3 (講義)	【予習】 妙好人について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	浄土思想について4 (講義)	【予習】 阿弥陀如来について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	禅の思想について1 (講義)	【予習】 禅の修行について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	禅の思想について2 (講義)	【予習】 禅の悟りについて考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	禅の思想について3 (講義)	【予習】 坐禅の目的について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	禅の思想について4 (講義)	【予習】 坐禅の種類について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	禅念一如について (講義)	【予習】 自力と他力の共通点と相違点について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ	【予習】 及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(60)
⑯	定期試験	

科目名	宗教思想 b			担当教員名	宇佐美 之規	
サブタイトル	宗教の定義、仏教とキリスト教			授業コード	E12072	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無				実務経験(職業等)		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・ 宗教と Religion の定義について研究し理解を深め説明することが出来る。
- ・ 仏教とキリスト教について、その思想について理解を深めることが出来る。
- ・ 布教についての思想の違いについて学習し理解を深め説明することが出来る。

〈授業概要〉

さまざま宗教が存在しますが、その「宗教=Religion」の定義について研究し、更に、日本に伝来した宗教である仏教とキリスト教の二つに絞り、その伝来した際の影響について研究します。

〈質疑応答〉

質問は講義中にして下さい。

オフィスアワー（研究室）水曜日午後 15 時～16 時 木曜日午前 10 時～11 時
（※会議のある日を除く）

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ①書面でアドバイス ②口頭でアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験 80%・授業への取組み及び受講態度 20%

また、授業を 4 回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要に応じて紹介します。

参考文献：必要に応じて資料を配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	宗教とは (講義)	【予習】 宗教について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
②	日本における宗教意識 (講義)	【予習】 日本人の宗教の捉え方について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
③	宗教の定義について1 (講義)	【予習】 宗教の定義について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
④	宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西欧の思想家の考えを調べてくる(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑤	宗教の定義について3 (講義)	【予習】 日本の思想家の考えを調べてくる(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑥	西欧の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 エリアーデの定義について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑦	西欧の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 シュライエルマッハー定義について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑧	日本の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 鈴木大拙の定義について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑨	日本の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西田幾多郎の定義について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑩	宗教と Religion1 (講義)	【予習】 Religion の意味について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑪	宗教と Religion2 (講義)	【予習】 日本語の宗教の意味について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑫	キリスト教の伝来1 (講義)	【予習】 キリスト教という宗教について考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑬	キリスト教の伝来2	【予習】 キリスト教の伝道について調べてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑭	キリスト教の伝来3	【予習】 キリスト教が世界に広まったことについて考えてくること(30) 【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ	【予習】 及び【復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (60)
⑯	定期試験	

科目名	仏教福祉a			担当教員名	松久 宗心	
サブタイトル	共生・共育・共感の仏教社会福祉			授業コード	E12081	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(教誨師)		妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職		

〈DP〉

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・現代社会の諸問題に対し、仏教社会福祉の必要性を理解し実践することができる。
- ・現代社会において、仏教社会福祉精神の中心である「慈悲」のこころを育て、日常生活において、実践することができる。
- ・社会貢献を通じて、仏の教えを基にした協調力・応用力を習得することができる。

〈授業概要〉

佛教の大切な教え、縁起の法、諸行無常・諸法無我、慈悲の思いを抱いて、いかに多くの人に対して、精神的・身体的・制度的なケアができるか考察する。

毎回次週の資料を配布する。

〈質疑応答〉

授業時間内・終了後も時間の許す限り受け付けます。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験・小レポート（70%）取り組み態度（意欲）（30%）をもって評価する。

〈学生へのフィードバック(振り返りのためのアドバイス)〉

口頭でアドバイス

〈テキスト及び参考文献〉

仏教社会福祉入門（日本仏教社会福祉学会編・法蔵館）

仏教社会福祉辞典（日本仏教社会福祉学会編・法蔵館）

☆ 各種団体の都合により、実習内容・日程の変更があるかもしれません。ご了承ください。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	仏教社会福祉とは何か	【予習】 シラバスを読み授業内容をあらかじめ把握する (20) 【復習】 課題プリントを熟読する (60)
②	仏教社会福祉の歩み	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
③	仏教的人間観・四無量心	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
④	四攝法	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑤	無財の七施	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑥	ボランティア活動の実践	【予習】 活動目的及び活動内容を把握する (20) 【復習】 活動内容の反省文作成 (30)
⑦	福祉実践をした先人	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑧	近代における仏教社会事業	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑨	苦悩からの解放	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑩	差別・平等	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑪	中村久子に学ぶ	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑫	ボランティア活動の実践	【予習】 活動目的及び活動内容を把握する (20) 【復習】 活動内容の反省文作成 (30)
⑬	話す・聞く	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを把握する (30)
⑭	孤独・孤立	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを把握する (30)
⑮	子育て支援	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを把握する (30)
⑯	筆記試験	

科目名	仏教福祉b			担当教員名	松久 宗心	
サブタイトル	共生・共育・共感の仏教社会福祉			授業コード	E12082	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(教誨師)		妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職		

〈DP〉

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

〈到達目標〉

- ・現代社会の諸問題に対し、仏教社会福祉の必要性を理解し実践することができる。
- ・現代社会において、仏教社会福祉精神の中心である「慈悲」のこころを育て、日常生活において、実践することができる。
- ・地域社会において、仏の教えを基にした社会福祉を創造する力を得ることができる。

〈授業概要〉

佛教の大切な教え、縁起の法、諸行無常・諸法無我、慈悲の思いを抱いて、いかに多くの人に対して、精神的・身体的・制度的なケアができるか考察する。

毎週次週の資料を配布する。

〈質疑応答〉

授業時間内・終了後も時間の許す限り受け付けます。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験・小レポート（60％）取り組み態度（意欲）（40％）をもって評価する。

〈学生へのフィードバック(振り返りのためのアドバイス)〉

口頭でアドバイス

〈テキスト及び参考文献〉

仏教社会福祉入門（日本仏教社会福祉学会編・法蔵館）

仏教社会福祉辞典（日本仏教社会福祉学会編・法蔵館）

☆ 各種団体の都合により、実習内容・日程の変更があるかもしれません。ご了承ください。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	教誨師	【予習】 シラバスを読み授業内容をあらかじめ把握する (20) 【復習】 課題プリントを熟読する (60)
②	拘禁刑	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
③	小児期逆境体験	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
④	更生保護と雇用	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑤	保護司	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑥	ハラスメント	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑦	毒親・カールングペアレント	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑧	スピリチュアルケア	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑨	ビハーラ (仏教看護)	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑩	科学的看護	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑪	自傷行為	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑫	認知症の経済問題	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑬	グリーフケア	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑭	L G B T	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑮	S D G s	【予習】 課題プリントを読み授業内容を把握する (20) 【復習】 授業内容を再確認しポイントを整理する (30)
⑯	筆記試験	

科目名	禅宗経典 a			担当教員名	水野 和彦	
サブタイトル	禅宗経典語録の解説			授業コード	E12091	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・禅宗の経典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

〈授業概要〉

本授業では、妙心寺で発行されている『勤行聖典』を中心に、臨済宗で読誦する経典について学習する。授業では、経典の現代語訳を用意し、その思想を考察し、日課経典でどのようなものを読誦しているか、説明できることを目的とする。そして朝課や提唱などで読誦する経典の実践なども取り入れたい。授業の進度は、受講者数や習熟度、学生からの要望によって臨機応変に対応したい。また『雛僧要訓』の輪読や、禅宗の語録や大乘経典の読解なども試みたい。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

レポート・定期試験（50%）、授業で課する課題の取り組み（50%）

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派勤行聖典』『三経合本』貝葉書院、『雛僧要訓』、他
配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第三版』岩波書店 9990 円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000 円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 禅宗にとって経典とは	【予習】 シラバスを読む (20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	七佛通解偈・夜叉説半偈 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
③	懺悔文・開経偈・剃髮偈 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
④	三帰戒・四弘誓願 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑤	禅宗の陀羅尼① 大悲呪 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑥	禅宗の陀羅尼② 佛頂尊・消災呪 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑦	禅宗の陀羅尼③ 楞嚴呪 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑧	法華経と観音経① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑨	法華経と観音経② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑩	法華経と観音経③ (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑪	法華経と観音経④ (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑫	『金剛経』講読① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑬	『金剛経』講読② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑭	『金剛経』講読③ (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑮	『金剛経』講読④ (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑯	筆記試験	

科目名	禅宗經典 b			担当教員名	水野 和彦	
サブタイトル	禅宗經典語録の解説			授業コード	E12092	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶、瑞東寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・禅宗の經典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

〈授業概要〉

本授業では、妙心寺で発行されている『勤行聖典』を中心に、臨済宗で読誦する經典について学習する。授業では、經典の現代語訳を用意し、その思想を考察し、日課經典でどのようなものを読誦しているか、説明できることを目的とする。そして朝課や提唱などで読誦する經典の実践なども取り入れたい。授業の進度は、受講者数や習熟度、学生からの要望によって臨機応変に対応したい。また『雛僧要訓』の輪読や、禅宗の語録や大乘經典の読解なども試みたい。

〈質疑応答〉

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

レポート、筆記試験の答案にコメントをつけて返却

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

レポート・定期試験 (50%)、授業で課する課題の取り組み (50%)

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派勤行聖典』『三経合本』貝葉書院、『雛僧要訓』、他
配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第三版』岩波書店 9990 円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000 円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 禅宗にとって経典とは	【予習】 シラバスを読む (20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	白隠禅師坐禅和讃① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
③	白隠禅師坐禅和讃② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
④	菩提和讃① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑤	菩提和讃② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑥	菩提和讃③ (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑦	大燈国師遺誡① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑧	大燈国師遺誡② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑨	無相大師遺誡① (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑩	無相大師遺誡② (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑪	『正法山六祖伝』より関山国師① (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑫	『正法山六祖伝』より関山国師② (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑬	『正法山六祖伝』より関山国師③ (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑭	大慧禅師発願文 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑮	中峰和尚座右銘 (読経実践、講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45) 【復習】 授業の確認とまとめ (30)
⑯	筆記試験	

科目名	禅宗法儀a			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本			授業コード	E12101	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。禅について専門的知識を習得している。

社会は全てが歴史の積み重ねであることを踏まえ、歴史のある禅は諸道に通じるものであることを学び確信し、豊かな素養を生かしながら、たとえ見えない存在であっても歴史の中での貴重な一員となることができる。

〈到達目標〉

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・禅宗僧侶になるための法儀的専門知識を得る。

〈授業概要〉

禅宗法儀とは、「如法の儀式。仏祖の作法。(駒澤大学内禅学大辞典編纂所編 新版禅学大辞典)」とある。本学選択科目の「禅の作法と心得 a」、「禅の作法と心得 b」の基本的作法からもう一步踏み込んだ所の専門的作法や儀式の厳修方法などを学び、同時にその精神も学ぶ。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、事務室まで訪ねて来てください。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(70%程度)と授業への取り組み(30%)で成績を評価します。

なお、4回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込1,000円)。

三経合本(貝葉書院)税込1,980円

『校訂 大般若理趣分 平かな附』(永田文昌堂、2,570円程度)

『江湖法式梵唄抄 改編版』吹田良忠監修(発行 禅文化研究所、税別5,000円)

『江湖法式梵唄抄』加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修、『江湖法式梵唄抄別冊』

吹田良忠監修(禅文化研究所、平成21年再版)。

参考書：『小叢林略清規』(編集・禅文化研究所)絶版ですが逸外記念図書館にて閲覧可能。

『江湖叢書 諸回向清規式〔抄〕』(編集・禅文化研究所)

『新修禅家書鑑』(編集・禅文化研究所)

配布資料：適宜配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	基本動作、装束、三拝等 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	基本動作、特為茶、供給等 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	基本動作、膳、荘厳等 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	基本動作、法鼓出頭等 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	維那、祝聖、回向 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	維那、施餓鬼三辺返し (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	維那、施餓鬼回向、施餓鬼幡(講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	施餓鬼会作法 (DVD・講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	齋会作法等 (DVD・講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	大般若理趣分の読み方 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	大般若会の導師作法 (講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	大般若会作法 (DVD・講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	大本山妙心寺での勤行等作法 (DVD・講義・実習)	【予習】テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	禅宗法儀b			担当教員名	山本 宗孝	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本			授業コード	E12102	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		妙心寺派僧侶・桃林寺住職		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明できる。禅について専門的知識を習得している。

社会は全てが歴史の積み重ねであることを踏まえ、歴史のある禅は諸道に通じるものであることを学び確信し、豊かな素養を生かしながら、たとえ見えない存在であっても歴史の中での貴重な一員となることができる。

〈到達目標〉

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・禅宗僧侶になるための法儀的専門知識を得る。

〈授業概要〉

禅宗法儀とは、「如法の儀式。仏祖の作法。(駒澤大学内禅学大辞典編纂所編 新版禅学大辞典)」とある。本学選択科目の「禅の作法と心得 a」、「禅の作法と心得 b」の基本的作法からもう一步踏み込んだ所の専門的作法や儀式の厳修方法などを学び、同時にその精神も学ぶ。

〈質疑応答〉

オフィスアワーの時間に受け付けますので、事務室まで訪ねて来てください。

〈学生へのフィードバック〉

口頭もしくは書面でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

定期試験(70%程度)と授業への取り組み(30%)で成績を評価します。

なお、4回以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込1,000円)。

『臨済宗回向文の漢字読み方集』(編集・発行 正眼短期大学、税込1,200円)

『江湖法式梵唄抄 改編版』吹田良忠監修(発行 禅文化研究所、税別5,000円)

『江湖法式梵唄抄』加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修、『江湖法式梵唄抄別冊』吹田良忠監修(禅文化研究所、平成21年再版)。

参考書：『小叢林略清規』(編集・禅文化研究所)絶版ですが逸外記念図書館にて閲覧可能。

『江湖叢書 諸回向清規式〔抄〕』(編集・禅文化研究所)

『新修禅家書鑑』(編集・禅文化研究所)

『全訳 漢辞海 第四版』戸川芳郎監修・佐藤進、濱口富士雄編(三省堂)

『漢詩創作のための詩語集』石川忠久編著(大修館書店)

配布資料：適宜配布します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	回向文の仕組みと考え方 (講義)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	回向文を考える (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	戒名について (講義)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	戒名を考える (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	香語について (講義)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	香語について (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	香語の作成 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	香語、引導法語について (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	在家葬送儀 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	出家葬送儀 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	金封作法 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	拝請作法 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	掛塔の準備・仕方について (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30) 【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	定期試験	

科目名	日本事情a			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	日本文化から歴史を学ぶ			授業コード	E11111	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月・1	2	講義	15	留学生選択 必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。

〈授業概要〉

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もしていただきます。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス：オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス：授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行きます。

鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、定期試験（筆記試験70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、レポート・発表（20%程度）により行います。

あわせて秋学期開講の「日本事情b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	近現代の日本文化 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	東京の誕生 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	キリスト教の解禁と神仏分離 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	国家神道と神社の整理 *レポート提出 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	学制の頒布と欧米思想の普及 *発表 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	改暦による生活の変化 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	和歌に表れた文明開化 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	新聞の発行 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	洋食との出会いと普及 *レポート提出 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	写真の登場 *発表 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	交通機関の整備 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	近代建築物の誕生 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	日本画と洋画の復興 (講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	日本事情b			担当教員名	鈴木 重喜	
サブタイトル	日本文化から歴史を学ぶ			授業コード	E11112	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月・1	2	講義	15	留学生選択 必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。

〈授業概要〉

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もしていただきます。

〈質疑応答〉

質問等は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

*月曜日、木曜日、金曜日の15:30より17:00まで研究室にて行いますので、事前に予約してください。

また、以下に示したメールあての質問等も随時受け付けます。

鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ・口頭でアドバイス：オフィスアワーの時間に行います。事前予約が必要です。
- ・電子媒体でアドバイス：授業についての総評は、成績評価後、以下のメールにより各自のメールへ行きます。

鈴木研究室 mail アドレス：suzuki.s@shogen.ac.jp

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は、定期試験（筆記試験70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、レポート・発表（20%程度）により行います。

あわせて春学期開講の「日本事情a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション(講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
②	平安時代の文化(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
③	平安遷都と山岳仏教の隆盛(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
④	弘仁・貞観の文化(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	浄土思想(講義・講読) *レポート提出	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	神仏習合と修験道(講義・講読) *発表	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	書の普及と漢詩文集(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	平仮名、片仮名の発生(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	物語文学の誕生(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	日記文学の発展(講義・講読) *レポート提出	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『源氏物語』と『枕草子』(講義・講読) *発表	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	大和絵と物語絵(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	歴史物語の発生(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	宮廷行事の整理(講義・講読)	【予習】プリントを読んで内容を把握する(60) 【復習】授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ(講義)	【予習および復習】試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

科目名	茶道 a			担当教員名	辻 栄治	
サブタイトル	茶道から学ぶ日本の伝統文化とおもてなしの心			授業コード	F32031	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木・1	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		茶道裏千家正教授		

〈DP〉

①広い社会的関心と教育を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互関係に務め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・ 茶道の知識を習得できる。
- ・ 礼儀正しい態度を身につけることができる。
- ・ 茶席での客としての心構えを身につけることができる。
- ・ お茶を美味しく点てることができる。
- ・ 茶道を通じて日本の伝統文化をすることができる。
- ・ 茶道の季節感を大事にする心を身につけることができる。

〈授業概要〉

日本の伝統文化である茶道を、割稽古(帛紗捌き、棗の清め方等点前に先立って行う稽古)、盆略点前、を習得します。茶道を学ぶ事によって「思いやりの心」「道具(掛け軸等)の扱い方」を学びます。また、卒業後にも役立つお菓子・抹茶のいただき方を習得します。椅子に座っての点前(立礼)も稽古します。礼儀正しさと豊かな心を身につけます。

〈質疑応答〉

理解できない内容については、授業中でも適宜聞いてください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

授業中に習得するよう指導します。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

筆記試験30%、授業態度40%、レポート30%で評価します。

着物着用(男子袴着用)(女子は袴無くても可)、男女とも白足袋着用、帛紗、茶道用扇子持参

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：裏千家より発行「学校茶道初級編」税込 770円

参考文献：

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	茶道を学ぶにあたっての基本的な知識	【予習】 シラバスを読み授業内容把握(20) 【復習】 テキストにて内容確認(20)
②	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容確認(20) 【復習】 テキストにて内容確認(20)
③	割稽古 実習	【予習】 帛紗捌きができるように(10) 【復習】 イメージにて内容確認(10)
④	盆略点前 実習	【予習】 帛紗捌きができるように(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑤	盆略点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑥	盆略点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑦	風炉薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑧	風炉薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑨	風炉薄茶、立礼薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑩	風炉(棚)薄茶点前、立礼薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑪	風炉(棚)薄茶点前、立礼薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑫	葉蓋薄茶点前(平棗) 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑬	葉蓋薄茶点前(平棗) 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑭	洗い茶巾薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑮	洗い茶巾薄茶点前 実習	【予習】 前回イメージ練習1回(10) 【復習】 イメージ練習で内容確認(10)
⑯	筆記試験	

科目名	華道b			担当教員名	辻 栄治	
サブタイトル	花を知り、美しくいける			授業コード	F32042	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木・1	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		日本生花司松月堂古流 正教授		

〈DP〉

①広い社会的関心と教育を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互関係に務め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・日本の伝統文化であるいけ花の知識を取得し、人に説明できる。
- ・花の名前、誕生花、花言葉など花の知識を学ぶことができる。
- ・花を美しく表現できる技能を習得できる。
- ・いけ花を自分でいけることができる。
- ・いけ花の良さを理解し、いけ花を好きになります。

〈授業概要〉

日本では特に花を立てることを中心にして華道が成立した。自然があるままに咲く花を切り、その花の出生、特徴をいかしより花が活きるようにする。花をいけるという伝統文化を習得します。床の間、玄関、下駄箱の上などいける場所、またいける器によって違う、生花（格式花）、盛花、投入花を習得します。

〈質疑応答〉

理解できない内容については、授業中でも適宜聞いてください。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

授業中に口頭で指導します。

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

筆記試験30%、授業態度40%、レポート30%で評価します。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：毎回プリントを配布します。

参考文献：講談社「松月堂古流のいけ花」図書館にあります。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間（分）
①	いけ花の歴史 （これから習う生花、盛花、投入花について）	【予習】 シラバスを読み授業内容把握（１０） 【復習】 授業内容の確認（１０）
②	重陽の節句の花 生花実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
③	松月堂古流について 生花実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
④	生花について 生花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑤	生花の分体について 生花実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑥	盛花について 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑦	盛花の花器と技法 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑧	花材の挿し方 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑨	いけばなの色彩 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑩	投入花について 投入花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑪	花材の矯め方 投入花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑫	花材の水揚げ 投入花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑬	切り花を長持ちさせる 投入花の実習	【予習】 前回配布のプリント内容把握（１０） 【復習】 テキストにて内容確認（１０）
⑭	水仙をいける 生花の実習	【予習】 前回イメージ練習１回（１０） 【復習】 イメージ練習で内容確認（１０）
⑮	小品花をいける 小品花の実習	【予習】 前回イメージ練習１回（１０） 【復習】 イメージ練習で内容確認（１０）
⑯	筆記試験	

科目名	筆禅道 a			担当教員名	加藤 舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる			授業コード	F32051	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木3・4 (隔週)	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		元公立高等学校教諭・筆禅会会員		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・文房四宝（筆・墨・硯・紙）の取り扱い方を修得できる。
- ・呼吸・姿勢・執筆法を修得できる。
- ・書写能力（硬筆・毛筆）と鑑賞眼を向上できる。
- ・自用印を制作し、書作品に押印できる。

〈授業概要〉

書は文字を素材とした造形藝術です。漢字文化圏において発達し、日本においては平安時代の仮名の線に象徴される最も美しい日本伝統文化の一つです。中国で生まれた漢字の変遷をたどりながら、古典と呼ばれる中国の名跡を中心に鑑賞・臨書してその美しさに迫ります。篆刻では作品に押す自用印を作ります。

〈質疑応答〉

理解できない内容はその都度、質問してください。
時間が必要な時は授業後にお願いします

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ① 書面（ノート添削） ② 口頭

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は授業中の習作作品 50%、レポート及び試験 30%、授業に対する取り組み 20%によって評価する。

授業時数の5分の1（4コマ）以上欠席すると、試験資格がなくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費とし2,000円徴収します。

参考文献：「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 且中 著 春秋社 2,800円＋税

「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 且中／角井 博 著 至文堂 3,600円＋税

「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 且中 著 淡交社 1,600円＋税

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	書について 筆禅道とは (講義・実習・鑑賞)	【予習】書道とは(15) 【復習】呼吸・執筆法(30)
②	用具用材 文房四宝 落成款識 (講義・実習・鑑賞)	【予習】文房四宝とは(15) 【復習】五體字類(60)
③	篆書之美 甲骨文・金文 (講義・実習・鑑賞)	【予習】篆書とは(15) 【復習】直線と曲線(30)
④	石鼓文・泰山刻石 (講義・実習・鑑賞)	【予習】始皇帝とは(15) 【復習】姓名検字(60)
⑤	篆刻 金印・落款印 (講義・実習・鑑賞)	【予習】金印とは(15) 【復習】名印・姓名印奏刀(90)
⑥	楷書之美 楷書と片仮名・永字八法 (講義・実習・鑑賞)	【予習】楷書とは(15) 【復習】書体と書風(30)
⑦	孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘 (講義・実習・鑑賞)	【予習】唐の四大家とは(15) 【復習】硬筆(30)
⑧	隷書之美 乙瑛碑・曹全碑 木簡・竹簡 (講義・実習・鑑賞)	【予習】隷書とは(15) 【復習】硬筆(30)
⑨	鄧石如の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】鄧石如とは(15) 【復習】硬筆(30)
⑩	草書之美 草書と平仮名 (講義・実習・鑑賞)	【予習】草書とは(15) 【復習】硬筆(30)
⑪	十七帖・真草千字文 (講義・実習・鑑賞)	【予習】王羲之とは(15) 【復習】硬筆(30)
⑫	仮名之美 いろは歌・蓬萊切 (講義・実習・鑑賞)	【予習】いろは歌とは(15) 【復習】平仮名单体・硬筆(60)
⑬	高野切・三色紙 (講義・実習・鑑賞)	【予習】三色紙とは(15) 【復習】変体仮名・硬筆(60)
⑭	行書之美 楷書との比較 (講義・実習・鑑賞)	【予習】行書とは(15) 【復習】宋の四大家の書(30)
⑮	蘭亭序・祭姪文稿 (講義・実習・鑑賞)	【予習】双鉤填墨とは(15) 【復習】全臨(90)
⑯	筆記試験 レポート発表(郷土の書)	

科目名	筆禅道 b			担当教員名	加藤 舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる			授業コード	F32052	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木・3・4 (隔週)	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		元公立高等学校教諭・筆禅会会員		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

〈到達目標〉

- ・文房四宝（筆・墨・硯・紙）の取り扱い方を修得できる。
- ・呼吸・姿勢・執筆法を修得できる。
- ・書写能力（硬筆・毛筆）と鑑賞眼を向上できる。
- ・書軸の取り扱い方が修得できる。

〈授業概要〉

書は用美一体の芸術であり、日常生活を離れません。筆をもつ機会は減りましたが、筆跡（墨跡）を鑑賞しながら、書は人なりを学んでいきます。墨跡は、本来は墨筆で書いた文字のことですが、日本の書では禅宗の高僧の筆跡を禅林墨跡、略して墨跡といいます。高僧の墨跡に参じてその人物に迫ります。

〈質疑応答〉

理解できない内容はその都度、質問してください。
時間が必要な時は授業後にお願いします。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

- ① 書面（ノート添削） ② 口頭

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

評価は授業中の習作作品 50%、レポート及び試験 30%、授業に対する取り組み 20%によって評価する。

授業時数の5分の1（4コマ）以上欠席すると、試験資格がなくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費とし2,000円徴収します。

参考文献：「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 且中 著 春秋社 2,800円＋税

「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 且中／角井 博 著 至文堂 3,600円＋税

「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 且中 著 淡交社 1,600円＋税

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	漢字仮名交じり書 (漢字・片仮名・平仮名) (講義・実習・鑑賞)	【予習】 會津八一について(15) 【復習】 「学規」(45)
②	文人の書 (書と書論) (講義・実習・鑑賞)	【予習】 高村光太郎について(15) 【復習】 「雨ニモマケズ」(60)
③	最澄の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 最澄について(15) 【復習】 「久隔帖」〈硬筆〉(60)
④	三筆の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 三筆とは(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑤	空海の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 空海について(15) 【復習】 「風信帖」〈硬筆〉(60)
⑥	三跡の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 三跡とは(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑦	宗峰妙超の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 大燈について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑧	関山慧玄の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 関山について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑨	一休宗純の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 一休について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑩	澤庵宗彭の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 澤庵について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑪	白隠慧鶴の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 白隠について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑫	仙厓義梵の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 仙厓について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑬	大愚良寛の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 良寛について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑭	山本玄峰の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 玄峰について(15) 【復習】 〈硬筆〉(30)
⑮	筆禅道・作品制作 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 選文 (墨場必携) (30) 【復習】 検字 (五体字類) (60)
⑯	筆記試験 レポート発表 (禅の書)	

科目名	陶芸 a			担当教員名	松原 一哲	
サブタイトル	うつわの芯			授業コード	F32061	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金・1・2 (隔週)	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		陶芸家		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することができる。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技の習得ができる。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増すことができる。

〈授業概要〉

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの生徒諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

〈質疑応答〉

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付ますので、遠慮なく聞いて下さい。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

口頭でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

授業への取り組み 50%、定期試験 25%、作品提出 25%により行う。

なお、授業時数の5分の1（4コマ）以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要な資料は配布します。

参考文献：必要に応じて紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	制作工程の説明 (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
②	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
③	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
④	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑤	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑥	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑦	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑧	轆轤をひく 700度で素焼き (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑨	轆轤をひく 絵付け 施釉 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑩	轆轤をひく 1230度で電気炉焼成 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑪	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑫	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑬	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑭	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑮	授業のまとめ 作品提出 鑑賞 (講義)	【予習および復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認する。(60)
⑯	筆記試験	

科目名	陶芸 b			担当教員名	松原 一哲	
サブタイトル	うつわの芯			授業コード	F32061	
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金・1・2 (隔週)	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)		陶芸家		

〈DP〉

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

〈到達目標〉

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することができる。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技の習得ができる。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増すことができる。

〈授業概要〉

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの生徒諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

〈質疑応答〉

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付ますので、遠慮なく聞いて下さい。

〈課題に対するフィードバックの方法〉

口頭でのアドバイス

〈単位の認定評価方法及び受講上の留意点〉

授業への取り組み 50%、定期試験 25%、作品提出 25%により行う。

なお、授業時数の5分の1（4コマ）以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

〈テキスト及び参考文献〉

テキスト：必要な資料は配布します。

参考文献：必要に応じて紹介します。

	授業計画・内容	授業時間外学習・時間(分)
①	制作工程の説明 (講義)	【予習】シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20) 【復習】授業内容の確認とまとめ(30)
②	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
③	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
④	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑤	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑥	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑦	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑧	轆轤をひく 700度で素焼き (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑨	轆轤をひく 絵付け 施釉 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑩	轆轤をひく 1230度で電気炉焼成 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑪	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑫	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑬	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑭	轆轤をひく 抹茶茶盃制作 (実習)	【予習】芯出し練習(30) 【復習】高台削り(60)
⑮	授業のまとめ 作品提出 鑑賞 (講義)	【予習および復習】試験対策として、これまでの学習内容を確認する。(60)
⑯	筆記試験	